

科目名		人間学特講（SR）
担当教員		一ノ瀬 正樹
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>・哲学・倫理学の観点から、「人間とは何か」、「人間はどう生きるべきか」、といった根本的な問題について考えるための基本的視点を培ってもら。全体として、西洋哲学の解説を軸とする。その際、「因果」すなわち「原因と結果」の関係性に焦点を合わせて、その認識論的・道徳哲学的射程を解き明かしていきたい。部分的に、仏教的な「因果応報」の思想にも触れていく。</p> <p>・当然視される前提について、あえて「問い」を向けるという姿勢を養ってほしい。自分は正しい、と思っても、一旦保留して、別の考え方はありえるか、という思考ができるようになってほしい。</p> <p>・人間に関わる諸問題は、ほとんどが複雑的・複層的であり、一方のサイドからの単純な切り分けが困難なものであること、この「人間本性の事実」をいつも考慮に入れるようになっていただきたい。</p>
	テキストの概要	<p>因果性の問題に、安楽死の問題を加味した資料集を編纂した。これを基にして、おもには西洋哲学の視点を核に据えて、因果関係にまつわる諸問題を検討していく。また、安楽死の問題を題材にして、「死」の問題も検討していきたい。加えて、真宗学の視点から親鸞における因果応報の考え方についても触れる予定である。人間学の基盤をなす問題系を通覧してみたい。</p>
授業計画		<p>スクーリング・レポートを選択した場合、スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で開催される原則100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 世界のすがた</p> <p>第2章 ヒュームの因果批判</p> <p>第3章 世界のきまりと世界にすまう</p> <p>第4章 「死ぬ権利」の欺瞞</p> <p>第5章</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：「哲学」とは何か</p> <p>第02回：哲学を教育することの意義</p> <p>第03回：時間にまつわる形而上学的問題について</p> <p>第04回：帰納法にまつわる様々なパズルについて</p> <p>第05回：「観念論」について</p> <p>第06回：ヒューム哲学の基本的構図について</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 07 回：倫理学の諸問題について 第 08 回：「予防原則」という考え方について 第 09 回：3.11 の被害とは何だったのか 第 10 回：「弱い予防原則」と「強い予防原則」の対比について 第 11 回：二つの予防原則について 第 12 回：予防原則における因果関係 第 13 回：直説法条件文と、反事実的条件文の対比 第 14 回：出席者によるミニ・プレゼンテーション
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		人間学特講 (R)	
担当教員		一ノ瀬 正樹	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>・哲学・倫理学の観点から、「人間とは何か」、「人間はどう生きるべきか」、といった根本的な問題について考えるための基本的視点を培ってもら。全体として、西洋哲学の解説を軸とする。その際、「因果」すなわち「原因と結果」の関係性に焦点を合わせて、その認識論的・道徳哲学的射程を解き明かしていきたい。部分的に、仏教的な「因果応報」の思想にも触れていく。</p> <p>・当然視される前提について、あえて「問い」を向けるという姿勢を養ってほしい。自分は正しい、と思っても、一旦保留して、別の考え方はありえるか、という思考ができるようになってほしい。</p> <p>・人間に関わる諸問題は、ほとんどが複雑的・複層的であり、一方のサイドからの単純な切り分けが困難なものであること、この「人間本性の事実」をいつも考慮に入れるようになっていただきたい。</p>	
	テキストの概要	因果性の問題に、安楽死の問題を加味した資料集を編纂した。これを基にして、おもには西洋哲学の視点を核に据えて、因果関係にまつわる諸問題を検討していく。また、安楽死の問題を題材にして、「死」の問題も検討していきたい。加えて、真宗学の視点から親鸞における因果応報の考え方についても触れる予定である。人間学の基盤をなす問題系を通覧してみたい。	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 世界のすがた</p> <p>第2章 ヒュームの因果批判</p> <p>第3章 世界のきまりと世界にすまう</p> <p>第4章 「死ぬ権利」の欺瞞</p> <p>第5章</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		死生学特講 (SR)
担当教員		香川 知晶
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この「死生学特講」では、主に死をめぐる先端医療と倫理問題を問い直し、生命倫理という従来の問い直し方それ自体を問い直し、死生について学問的に熟考できるようになることを目指します。そして、それらの作業を通じて、自分自身の死生観を深めるとともに、人間と社会環境に関して幅広く理解できる能力を身につけることを目的とします。さらには、学問の基本にして要である「批判精神」を習得します。
	テキストの概要	香川知晶編著『資料集（死生学特講）』（武蔵野大学大学院通信教育部、2019年）
授業計画		スクーリングとレポートとを合わせて4単位を修得します。スクーリングは、本学で開講される100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは、2つのレポート（1つの課題に対して2本のレポート）を提出した上、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。 <自宅学習> 【第1章・第2章】 バイオエシックス・生命倫理の成立 【第3章】 新型出生前診断と「不幸な子どもの生まれない運動」 【第4章】 「自己決定」という概念の系譜 【第5章・第6章・第7章】 「いのち」の終わりをめぐる諸問題 <スクーリング> 第01回:命をめぐる問題についての基本的な考え方 第02回:重度障害新生児の治療停止 第03回:出生前診断 第04回:新型出生前診断 第05回:優生思想 第06回:遺伝子診断の問題 第07回:生殖技術①AID 第08回:生殖技術②体外受精 第09回:生殖技術③代理出産 第10回:脳死臓器移植①臓器移植の展開 第11回:脳死臓器移植②脳死の観点からの問題の整理 第12回:治療停止・安楽死①加V事件 第13回:治療停止・安楽死②世界の動向 第14回:まとめ
成績評価の方法		単位認定試験
		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		死生学特講 (R)	
担当教員		香川 知晶	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この「死生学特講」では、主に死をめぐる先端医療と倫理問題を問い直し、生命倫理という従来の問い直し方それ自体を問い直し、死生について学問的に熟考できるようになることを目指します。そして、それらの作業を通じて、自分自身の死生観を深めるとともに、人間と社会環境に関して幅広く理解できる能力を身につけることを目的とします。さらには、学問の基本にして要である「批判精神」を習得します。	
	テキストの概要	香川知晶編著『資料集（死生学特講）』（武蔵野大学大学院通信教育部、2019年）	
授業計画		4本のレポート（2つの課題に対してそれぞれ2本のレポート）を提出した上、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。 <自宅学習> 【第1章・第2章】 バイオエシックス・生命倫理の成立 【第3章】 新型出生前診断と「不幸な子どもの生まれない運動」 【第4章】 「自己決定」という概念の系譜 【第5章・第6章・第7章】 「いのち」の終わりをめぐる諸問題	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		老年学特講 (SR)
担当教員		工藤 由貴子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	「老年学特論」では、誰もが経験する老いの過程—エイジング、そして、エイジングが重要な意味をもつ社会そのものを研究対象とし、今日的課題を捉え、各自の専門領域の知見と併せてそれらの課題と取り組む力を獲得します。
	テキストの概要	工藤由貴子編 (2009) 『資料集 (老年学特講)』武蔵野大学大学院通信教育部.
授業計画		<p>スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で集中開催される100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート(1つの課題に対して2つのレポート)を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 老年学の研究を進めるに際して必要な基本概念</p> <p>第2章 高齢社会を生きる</p> <p>第3章 都市で老いる—Aging in Place—</p> <p>第4章 高齢社会の新しい仕組み</p> <p><スクーリング></p> <p>第1日目の課題：</p> <p>① 老年学 (ジェロントロジー) について</p> <p>② エイジングとは</p> <p>生涯発達という考え方</p> <p>エイジングのとらえ方のいろいろ</p> <p>③ 高齢化に対する基本的理解 (1)</p> <p>少子高齢化する人口構造</p> <p>人口増加から人口減少へ</p> <p>世界の動向</p> <p>④ 高齢化に対する基本的理解 (2)</p> <p>高齢者の実像</p> <p>寿命と健康寿命</p> <p>百歳老人</p> <p>第2日目の課題：</p> <p>① 少子・高齢社会のライフコース</p> <p>変わるライフコース</p> <p>現代のライフコースの諸相</p> <p>② 長寿時代の家族</p> <p>家族・世帯の形態とその変化</p> <p>日本の家族の諸相</p>

	変貌する結婚と家族 ③ 高齢社会と世代 少子・高齢社会の世代の特徴 若者と高齢者 社会保障制度と世代間の助け合い ④ グループによる演習 第3日目の課題： ① 高齢社会とジェンダー 性別役割分業のゆくえ 仕事と家庭 介護 ② 高齢社会と働き方 雇用環境の変化 新しい働き方 ③ 高齢社会のコミュニティ 高齢期の住まい 高齢社会を地域で支える 新しいコミュニティの創造 ④ グループによる演習	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		老年学特講 (R)	
担当教員		工藤 由貴子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	「老年学特論」では、誰もが経験する老いの過程—エイジング、そして、エイジングが重要な意味をもつ社会そのものを研究対象とし、今日的課題を捉え、各自の専門領域の知見と併せてそれらの課題と取り組む力を獲得します。	
	テキストの概要	工藤由貴子編 (2009) 『資料集 (老年学特講)』 武蔵野大学大学院通信教育部.	
授業計画		4つのレポート (2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。 <自宅学習> 第1章 老年学の研究を進めるに際して必要な基本概念 第2章 高齢社会を生きる 第3章 都市で老いる—Aging in Place— 第4章 高齢社会の新しい仕組み	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		グリーフケア特講（SR）
担当教員		新明 一星
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	「現代社会の中で適応困難を来たしている人たちの心理や行動のメカニズムを理解する」という目標に従い、喪失と悲嘆について次のように学習する。喪失による悲嘆反応について心理学的、臨床的、倫理的側面についての専門的知識を体得し、各人の関心を持った領域でのグリーフケアについて内外の文献研究や各人の実践を元に主体的に考察を深める。加えて、喪失体験と関連の深い心的外傷についても学習し、死別体験も含め「人が心に傷を受けること」についても検討を深める。
	テキストの概要	テキストは、「白井明美・小西聖子編（2009）『資料集（グリーフケア特講）』武蔵野大学大学院通信教育部」を用いる。通常の悲嘆と複雑性悲嘆（遷延性悲嘆障害）の概念、経過、治療について系統的に学ぶ。
授業計画		スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で集中開催される100分の講義を14コマ受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。 <スクーリング> 第01回：悲嘆の概念と愛着理論 第02回：通常の悲嘆反応の特徴 第03回：悲嘆のプロセスの諸理論 第04回：通常の悲嘆の疫学 第05回：通常ではない悲嘆の概念 第06回：複雑性悲嘆の概念と変遷 第07回：複雑性悲嘆の疫学 第08回：犯罪被害者遺族 第09回：自死遺族・災害遺族 第10回：子どもの悲嘆 第11回：通常の悲嘆のケア・介入・カウンセリング 第12回：複雑性悲嘆の治療 第13回：あいまいな喪失 第14回：試験・まとめ <自宅学習> 第1章 死別研究の基本的理解 第2章 悲嘆研究の発展 第3章 暴力的な死別を経験した遺族とは 第4章 治療とサポートの実際
成績評価の方法		単位認定試験

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		グリーフケア特講 (R)	
担当教員		新明 一星	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>「現代社会の中で適応困難を来たしている人たちの心理や行動のメカニズムを理解する」という目標に従い、喪失と悲嘆について次のように学習する。喪失による悲嘆反応について心理学的、臨床的、倫理的側面についての専門的知識を体得し、各人の関心を持った領域でのグリーフケアについて内外の文献研究や各人の実践を元に主体的に考察を深める。加えて、喪失体験と関連の深い心的外傷についても学習し、死別体験も含め「人が心に傷を受けること」についても検討を深める。</p>	
	テキストの概要	<p>テキストは、「白井明美・小西聖子編 (2009) 『資料集 (グリーフケア特講)』武蔵野大学大学院通信教育部」を用いる。通常の悲嘆と複雑性悲嘆 (遷延性悲嘆障害) の概念、経過、治療について系統的に学ぶ。</p>	
授業計画		<p>4つのレポート (2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 死別研究の基本的理解 第2章 悲嘆研究の発展 第3章 暴力的な死別を経験した遺族とは 第4章 治療とサポートの実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		カウンセリング特講 (R)	
担当教員		野口 普子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、エビデンス・ベースト・カウンセリングの考え方について学び、日本から発信された認知行動療法に関する知見について紹介します。</p> <p>また、東日本大震災などの自然災害や犯罪などのトラウマ体験によって引き起こされる外傷後ストレス障害 (PTSD) を例に、心理学的基礎理論に基づくカウンセリング技法を紹介し、その基礎となる心理学モデルの検証に関する知見の紹介、臨床場面におけるカウンセリングの実際について学び、エビデンス・ベースト・カウンセリングに対する理解を深めることを目標とします。</p>	
	テキストの概要	野口普子編 (2014) 『資料集 (カウンセリング特講)』武蔵野大学大学院通信教育部。	
授業計画		<p>4つのレポート (2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>【資料1】 「エビデンス・ベースト・カウンセリングの理論的基礎」</p> <p>【資料2】 「うつ病の認知療法・認知行動療法の実際」</p> <p>【資料3】 「日本における心理士によるうつ病に対する認知行動療法の系統的レビュー」</p> <p>【資料4】 「うつ病の認知行動療法—わが国における実証的研究」</p> <p>【資料5】 「エビデンスに基づく非薬物療法 認知行動療法のエビデンス」</p> <p>【補足1】 「外傷後ストレス障害 (Posttraumatic stress disorder; PTSD) の概観」</p> <p>【資料6】 「PTSDに対する認知行動療法 情動処理理論を中心に」</p> <p>【資料7】 「認知行動療法 (PE 療法) による PTSD 治療 —日本におけるエビデンスと被害者ケア現場での実践応用—」</p> <p>【資料8】 「交通事故に関する認知的評価と外傷後ストレス症状に関する縦断研究」</p> <p>【資料9】 「心理相談室におけるトラウマ臨床の困難と介入」</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		仏教史特講	
担当教員		長尾 重輝	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	本科目では、2500年に及ぶ仏教の歴史を、インド、中国、日本、そして東南アジアの四地域に分けて概観することにより、仏教に対する総合的、大局的な見方を養うことを到達目標とします。	
	テキストの概要	高橋審也・石上和敬編（2012）『資料集（仏教史特講）』武蔵野大学大学院通信教育部。	
授業計画		4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。 <自宅学習> 第1章 インド仏教の歴史 第2章 中国仏教の歴史 第3章 日本仏教の歴史 第4章 南伝仏教の歴史	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		仏教学特論（S）
担当教員		新作 慶明
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は、仏教学において基礎的とされる教義の概要を、実際の仏教文献（翻訳を含む）に基づいて理解し、考察することができるようになることです。</p> <p>具体的には、仏教の代表的な教義の概要を学んでいきます。原始仏典の苦・無常・無我や四諦説などの基礎的な教義、部派仏典の『俱舍論』などに見られるアビダルマ関連の諸知識と思考法、そして大乘の諸経典の思想や空や唯識などの学派形成に大きな影響を与えた思想等を学びます。また、仏教を社会的存在として捉えた場合、教義体系のみならず、教団を律してきた戒律も重要であることから、戒律文献にも学び射程を広げます。</p>
	テキストの概要	石上和敬編（2016）『資料集（仏教学特論）』武蔵野大学大学院通信教育部。
授業計画		<p>スクーリングは本学で毎週開催される100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 原始仏典を学ぶ 第2章 アビダルマ文献を学ぶ 第3章 戒律文献を学ぶ 第4章 大乘仏典を学ぶ</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：イントロダクション 第02回：原始仏典の思想① 第03回：原始仏典の思想② 第04回：原始仏典の思想③ 第05回：原始仏典を読む① 第06回：原始仏典の思想② 第07回：原始仏典の思想③ 第08回：アビダルマ仏教の思想① 第09回：アビダルマ仏教の思想② 第10回：アビダルマ文献を読む① 第11回：アビダルマ文献を読む② 第12回：戒律文献とは 第13回：戒律文献を読む① 第14回：戒律文献を読む② 第15回：大乘仏教の思想 第16回：空思想① 第17回：空思想②</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第18回：大乘論書を読む① 第19回：大乘論書を読む② 第20回：大乘論書を読む③ 第21回：唯識思想① 第22回：唯識思想② 第23回：大乘論書を読む④ 第24回：大乘論書を読む⑤ 第25回：如来蔵思想① 第26回：如来蔵思想② 第27回：大乘論書を読む⑥ 第28回：大乘論書を読む⑦	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		仏教学特論 (R)	
担当教員		新作 慶明	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は、仏教学において基礎的とされる教義の概要を、実際の仏教文献（翻訳を含む）に基づいて理解し、考察することができるようになることです。</p> <p>具体的には、仏教の代表的な教義の概要を学んでいきます。原始仏典の苦・無常・無我や四諦説などの基礎的な教義、部派仏典の『俱舍論』などに見られるアビダルマ関連の諸知識と思考法、そして大乘の諸経典の思想や空や唯識などの学派形成に大きな影響を与えた思想等を学びます。また、仏教を社会的存在として捉えた場合、教義体系のみならず、教団を律してきた戒律も重要であることから、戒律文献にも学び射程を広げます。</p>	
	テキストの概要	石上和敬編 (2016) 『資料集 (仏教学特論)』武蔵野大学大学院通信教育部	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 原始仏典を学ぶ</p> <p>第2章 アビダルマ文献を学ぶ</p> <p>第3章 戒律文献を学ぶ</p> <p>第4章 大乘仏典を学ぶ</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		現代仏教特殊研究
担当教員		石上 和敬・松本 紹圭
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p><知識専門性の到達目標> 現代社会において仏教者（僧侶と在家信者）や寺院が果たしうる役割を考察する際、その前提となる知識を習得し、それを応用する能力を身につけることを到達目標とする。</p> <p><関心・態度・人格の到達目標> 現代社会が直面する諸課題に対して仏教者や寺院がその知見に基づいて貢献できる可能性を積極的に模索することができるようになることを到達目標とする。</p> <p><思考・判断の到達目標> 古典文献である仏典の思想を現代社会のテーマにどのように繋げ、活かしていくのか、という視点から思考できるようになることが到達目標である。</p> <p><実践的スキル・表現の到達目標> 古典文献の読解から得られる知見と、現代社会の諸課題を社会科学的な視点を加味しつつ分析することから得られる知見とを、関連づけながら考察し、その成果をわかりやすく表現できるようになることが到達目標である。</p>
	テキストの概要	<p>本科目はスクーリングだけの開講であるため、資料集は配布しません。スクーリング時に資料を配布して講義を行います。また、通学制との合同授業（S）の場合、別途参考資料として、テキストを購入していただくこともあります。</p>
授業計画		<p>本科目は、スクーリングだけの学習方法で開講されます。スクーリングは、本学で開催される100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回：イントロダクション・受講者自己紹介・問題意識の設定 第2回：現代日本仏教のあり方について 第3回：現代日本仏教のあり方について 第4回：現代日本仏教のあり方について 第5回：経営学から見たお寺づくり論 第6回：経営学から見たお寺づくり論 第7回：経営学から見たお寺づくり論 第8回：経営学から見たお寺づくり論 第9回：お寺づくり実践事例研究 第10回：お寺づくり実践事例研究 第11回：お寺づくり実践事例研究 第12回：お寺づくり実践事例研究 第13回：現代における僧侶像・寺院像</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第14回：現代における僧侶像・寺院像 第15～16回：現代の葬送問題 第17～18回：世界の仏教事情 第19～20回：ヨーロッパにおける仏教 第21～22回：メディアから見た仏教者 第23～24回：寺院の新たな挑戦 第25～26回：仏教者の社会貢献 第27～28回：宗教法人の社会的責任
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		インド思想特講 (SR)
担当教員		佐藤 裕之
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	古代のバラモン教、バラモン教と土着宗教が融合したヒンドゥー教、そして、ひとつの解釈学として成立した正統哲学(六派哲学)を中心に、インド思想を歴史に沿って解説する。さらに、インド思想における人生観・人間観・解脱観などを原典に基づいて紹介する。インドにおける知の在り方と思惟方法、インドの人生観・人間観・解脱観について学び、インド思想の現代的意義や有効性などについて考察し、人間の精神、思考の根源の上に立って人間関係の新しい構築や修復を図れる能力を身につけていることをめざす。
	テキストの概要	佐藤裕之編(2010)『資料集(インド思想特講)』武蔵野大学大学院通信教育部。
授業計画		スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で集中開催される100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート(1つの課題に対して2つのレポート)を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。 <自宅学習> 第1章 インド思想概観 第2章 インド思想における人間観—人間はいかに生きるべきか— 第3章 インド思想における解脱観 第4章 インド思想アンソロジー <スクーリング> 第01回:イントロダクション 第02回:バラモン教とヒンドゥー教の神々(1) 第03回:バラモン教とヒンドゥー教の神々(2) 第04回:バラモン教とヒンドゥー教の聖典(1) 第05回:バラモン教とヒンドゥー教の聖典(2) 第06回:ウパニシャッドの思想 第07回:ビデオ「シャンカラの生涯(抄)」 第08回:インド思想における解脱観(1) 第09回:インド思想における解脱観(2) 第10回:インド思想における解脱観(3) 第11回:ビデオ「ガンジスの大祭:クンプ・メーラ」 第12回:『バガヴァット・ギーター』の思想(1) 第13回:『バガヴァット・ギーター』の思想(1) 第14回:ビデオ「生と死を見つめる聖地:ベナレス」
成績評価の方法		単位認定試験
		a:実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		インド思想特講 (S)
担当教員		佐藤 裕之
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	古代のバラモン教、バラモン教と土着宗教が融合したヒンドゥー教、そして、ひとつの解釈学として成立した正統哲学（六派哲学）を中心に、インド思想を歴史に沿って解説する。さらに、インド思想における人生観・人間観・解脱観などを原典に基づいて紹介する。インドにおける知の在り方と思惟方法、インドの人生観・人間観・解脱観について学び、インド思想の現代的意義や有効性などについて考察し、人間の精神、思考の根源の上に立って人間関係の新しい構築や修復を図れる能力を身につけていることをめざす。
	テキストの概要	佐藤裕之編 (2010) 『資料集 (インド思想特講)』 武蔵野大学大学院通信教育部。
授業計画		<p>スクーリングは本学で毎週開催される100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：イントロダクション</p> <p>第02回：バラモン教は何か？</p> <p>第03回：『リグ・ヴェーダ』の神々</p> <p>第04回：『リグ・ヴェーダ』に見られる世界創世神話</p> <p>第05回：『アタルヴァ・ヴェーダ』の呪術</p> <p>第06回：ブラーフマナの祭式</p> <p>第07回：ウパニシャッドとは何か？</p> <p>第08回：ブラフマンとアートマン (1)</p> <p>第09回：ブラフマンとアートマン (2)</p> <p>第10回：ヒンドゥー教とは何か？</p> <p>第11回：ヒンドゥー教の神々 (1)</p> <p>第12回：ヒンドゥー教の神々 (2)</p> <p>第13回：『バガヴァッド・ギーター』の思想 (1)</p> <p>第14回：『バガヴァッド・ギーター』の思想 (2)</p> <p>第15回：インドの正統哲学 (六派哲学)</p> <p>第16回：サーンキヤの哲学</p> <p>第17回：ヨーガの哲学</p> <p>第18回：ニヤーヤの哲学</p> <p>第19回：ヴァイシェーシカの哲学</p> <p>第20回：ミーマーンサーの哲学</p> <p>第21回：ヴェーダーンタの哲学</p> <p>第22回：カースト制度</p> <p>第23回：インドの人生観 (1)</p> <p>第24回：インドの人生観 (2)</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 25 回：インドの人間観（1） 第 26 回：インドの人間観（2） 第 27 回：インドの解脱観（1） 第 28 回：インドの解脱観（2）	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		インド思想特講 (R)	
担当教員		佐藤 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	古代のバラモン教、バラモン教と土着宗教が融合したヒンドゥー教、そして、ひとつの解釈学として成立した正統哲学（六派哲学）を中心に、インド思想を歴史に沿って解説する。さらに、インド思想における人生観・人間観・解脱観などを原典に基づいて紹介する。インドにおける知の在り方と思惟方法、インドの人生観・人間観・解脱観について学び、インド思想の現代的意義や有効性などについて考察し、人間の精神、思考の根源の上に立って人間関係の新しい構築や修復を図れる能力を身につけていることをめざす。	
	テキストの概要	佐藤裕之編 (2010) 『資料集 (インド思想特講)』 武蔵野大学大学院通信教育部。	
授業計画		4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。 〈自宅学習〉 第1章 インド思想概観 第2章 インド思想における人間観—人間はいかに生きるべきか— 第3章 インド思想における解脱観 第4章 インド思想アンソロジー	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		インド仏教特講 (S)
担当教員		日野 慧運
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、インド仏教の概要を把握するために必須と考えられる四つのテーマを選び、最新の研究成果に拠りながら、その要点を学習します。四つのテーマとはすなわち、釈尊の伝記にまつわる諸問題、原始・部派仏典の概要、大乘仏教の興起の問題、そして、大乘経典の研究方法です。これらの学習を通して、インドにおいて仏教が何を主張してきたのか、また、仏教がどのようなあり方で歴史のなかに存在してきたのかという、インド仏教の思想史と教団史との双方について、現在の学界でのおおよその動向を踏まえつつ、理解を深めることが本科目の到達目標です。</p>
	テキストの概要	石上和敬編 (2012) 『資料集 (インド仏教特講)』武蔵野大学大学院通信教育部。
授業計画		<p>本学で毎週開講するスクーリング講義 (1 時限 100 分) を 28 時限受講し、期末試験に合格することで、4 単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第 01 回：イントロダクション</p> <p>第 02 回：釈尊の生涯 (1)</p> <p>第 03 回：釈尊の生涯 (2)</p> <p>第 04 回：釈尊の生涯 (3)</p> <p>第 05 回：初期・部派仏教の仏典 (1)</p> <p>第 06 回：初期・部派仏教の仏典 (2)</p> <p>第 07 回：初期・部派仏教の仏典 (3)</p> <p>第 08 回：フォローアップ</p> <p>第 09 回：大乘仏教の興起 (1)</p> <p>第 10 回：大乘仏教の興起 (2)</p> <p>第 11 回：大乘仏教の興起 (3)</p> <p>第 12 回：大乘経典の研究 (1)</p> <p>第 13 回：大乘経典の研究 (2)</p> <p>第 14 回：大乘経典の研究 (3)</p> <p>第 15 回：フォローアップ</p> <p>第 16 回：初期仏典を読む (1)</p> <p>第 17 回：初期仏典を読む (2)</p> <p>第 18 回：初期仏典を読む (3)</p> <p>第 19 回：初期仏典を読む (4)</p> <p>第 20 回：初期仏典を読む (5)</p> <p>第 21 回：フォローアップ</p> <p>第 22 回：大乘経典を読む (1)</p> <p>第 23 回：大乘経典を読む (2)</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 24 回：大乘経典を読む (3) 第 25 回：大乘経典を読む (4) 第 26 回：大乘経典を読む (5) 第 27 回：期末試験 第 28 回：(予備日)	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		インド仏教特講 (R)	
担当教員		日野 慧運	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、インド仏教の概要を把握するために必須と考えられる四つのテーマを選び、最新の研究成果に拠りながら、その要点を学習します。四つのテーマとはすなわち、釈尊の伝記にまつわる諸問題、原始・部派仏典の概要、大乘仏教の興起の問題、そして、大乘経典の研究方法です。これらの学習を通して、インドにおいて仏教が何を主張してきたのか、また、仏教がどのようなあり方で歴史のなかに存在してきたのかという、インド仏教の思想史と教団史との双方について、現在の学界でのおおよその動向を踏まえつつ、理解を深めることが本科目の到達目標です。</p>	
	テキストの概要	石上和敬編 (2012) 『資料集 (インド仏教特講)』 武蔵野大学大学院通信教育部.	
授業計画		<p>4つのレポート (2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 釈尊の生涯</p> <p>第2章 原始仏教・部派仏教の仏典</p> <p>第3章 大乘仏教の興起</p> <p>第4章 特論 大乘経典の研究—<悲華経>を中心として</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b : 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		インド語仏教文献講読
担当教員		丸井 浩
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p><知識の専門性の到達目標> インド仏教原典、特に初期仏典の読解には、パーリ語の知識が不可欠である。本授業ではパーリ語文法の基礎知識を習得し、かつ実際のパーリ語原典が解読できるための基礎力を養成することが目標である。</p> <p><関心・態度・人格の到達目標> パーリ語文法を学ぶにあたって、サンスクリット語初等文法の知識を備えていることが望ましいが、その知識がない人でも、ゼロからパーリ語原典を読む力をつけることは可能である。ただしそのためには、地道に不断の努力をすること、そして自分が分かったか、まだ分からないかの区別を明確にして、分かるまで学ぼうとする謙虚さと忍耐力が求められる。知力よりも忍耐力、誠実さ、そしてポジティブ思考が重要である。逆に言えば、一年間、努力を続けることによって、初期仏典を原典で味わう第一歩を歩み出せるようになるばかりでなく、そうした忍耐力、誠実さなどが高まることが期待される。</p> <p><思考・判断の到達目標> パーリ語文法は、サンスクリット文法と関係が深く、名詞の曲用と動詞の活用と不変化辞という三種の単語から文が構成されている、という基本構造は同じである。文法的な数に両数はなく単数と複数の2種類だけであるなど、概してサンスクリット文法よりは単純であるが、他方、文法的な形が一律的には定まらず、多様な形が許されるなど逆に難しい点もある。つまり、パーリ語の読解力を養成するには、パーリ語の文法的知識ばかりでなく、この文は何を言っているのだろうかを文脈などから判断する力が必須となる。本授業は初期仏典を原典で読む能力を養うということが、最も直接的な目標であるが、広い視野から言えば、総じて読書力の基本となる思考力・判断力・忍耐力などを高めることを目指している。</p> <p><実践的スキル・表現の到達目標> パーリ語仏典にある初期仏教文献を原典で理解するための基礎的な読解スキルを身につけ、かつその原典の解読内容についての自分なりの理解が表現できる能力を習得する。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>本科目は、スクーリングだけの学習方法で開講されます。</p> <p>スクーリングは、本学で毎週開催される100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 導入とサンスクリット文法入門(1)</p> <p>第02回 サンスクリット文法入門(2)</p> <p>第03回 サンスクリット文法入門(3)</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第04回 サンスクリット文法入門 (4) 第05回 サンスクリット文法入門 (5) 第06回 サンスクリット文法入門 (6) 第07回 サンスクリット文法入門 (7) 第08回 サンスクリット文法入門 (8) 第09回 サンスクリット文法入門 (9) 第10回 サンスクリット文法入門 (10) 第11回 サンスクリット文法入門 (11) 第12回 サンスクリット文法入門 (12) 第13回 サンスクリット文法入門 (13) 第14回 前期末試験 第15回 サンスクリット文法入門 (14) 第16回 サンスクリット基礎文法既習事項の確認 第17回 サンスクリット文献撰文講読 (1) 第18回 サンスクリット文献撰文講読 (2) 第19回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (1) 第20回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (2) 第21回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (3) 第22回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (4) 第23回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (5) 第24回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (6) 第25回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (7) 第26回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (8) 第27回 サンスクリット仏教文献撰文講読 (9) 第28回 学年末試験
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的

備考

科目名		中国思想特講
担当教員		遠藤 祐介
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	儒家や道家をはじめとする代表的な中国思想の概要を理解する。また諸子百家の思想に基づいて、各時代の思想家たちが独自の理論を構築し、哲学的あるいは宗教的な方法で真理の把握を目指した様子や、彼らが目指した理想社会とは何かを理解し、中国思想と現代日本との接点をリアルに感じられるようになることを目指す。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>本科目は、スクーリングだけの学習方法で開講されます。</p> <p>スクーリングは、本学で開催される講義（100分の講義を計27時限）を受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：中国哲学史の性質</p> <p>第02回：中国哲学史の特徴</p> <p>第03回：中国哲学史の研究方法</p> <p>第04回：夏から西周の経済政治文化と思想</p> <p>第05回：春秋時代の科学知識と思想</p> <p>第06回：『易経』と『洪範』</p> <p>第07回：上帝と鬼神</p> <p>第08回：春秋時代における反神秘主義の思潮</p> <p>第09回：事物と世界に対する認識</p> <p>第10回：素朴な弁証法思想</p> <p>第11回：管子の思想</p> <p>第12回：老子思想の誕生</p> <p>第13回：無為自然の思想</p> <p>第14回：道の思想</p> <p>第15回：小国寡民の社会思想</p> <p>第16回：孔子における礼</p> <p>第17回：克己復礼の思想</p> <p>第18回：天命に対する信仰</p> <p>第19回：孔子の教育観</p> <p>第20回：戦国時代における生産力の向上と自然科学の進展</p> <p>第21回：百家争鳴</p> <p>第22回：墨子学派</p> <p>第23回：兼愛、非攻の思想</p> <p>第24回：天志と明鬼の思想</p> <p>第25回：孟子における義と利</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 26 回：性善説 第 27 回：尽心、知性、知天の思想	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		中国仏教特講（S）	
担当教員		西本 照真	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>インドからもたらされた仏教の思想が中国に本格的に根を下ろし、中国的な仏教思想として成立してくるのは隋唐代以降といえます。本講義では、中国への仏教の伝播と展開について概観しつつ、中国仏教の普遍的特質と各宗派の思想の独自性について学びます。①レポート（R）では、中国仏教史の展開を押さえた上で、隋唐の実践的仏教の一宗派である三階教の思想と活動に焦点を当てて学んでいきます。②スクーリング（S）は、隋唐代に広く読まれた仏教文献、あるいは隋唐代に成立した仏教文献の中から重要なものを取り上げて講読します。令和2年度は、隋代の天台宗の文献で中国天台の大成者智顛が講義したものを弟子の灌頂がまとめたとされる『摩訶止観』を講読していく予定です。『摩訶止観』は、天台において仏道修行の根幹にすえる止観の実践について説いたテキストで、天台宗の思想と実践を理解する上で不可欠なものです。今年度は、『摩訶止観』の後半、巻第五（の上）の「正修」止観の箇所、十境十乗観法について輪読していきます。天台止観の中でも中心の一つに位置づけられる一念三千の止観など、天台の実践の核心を学ぶこととなります。天台における止観の特質について理解を深めるとともに、中国仏教の止観の実践の展開の中でどのように位置づけられるか、明らかにしていくことができればと思います。</p>	
	テキストの概要	西本照真編『資料集（中国仏教特講）』武蔵野大学大学院通信教育部。	
授業計画		<p>スクーリングは本学で毎週開催される100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p>第1章 中国仏教史（1）（異宗教としての仏教の伝来と普及） 第2章 中国仏教史（2）（統一国家と仏教） 第3章 （特論1）三階教の思想と実践 第4章 （特論2）三階教研究の方法論的アプローチ</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回 中国仏教の研究方法について、『摩訶止観』に関する概説 第2回～第29回 文献講読 第30回 まとめ</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		中国仏教特講（R）	
担当教員		西本 照真	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>インドからもたらされた仏教の思想が中国に本格的に根を下ろし、中国的な仏教思想として成立してくるのは隋唐代以降といえます。本講義では、中国への仏教の伝播と展開について概観しつつ、中国仏教の普遍的特質と各宗派の思想の独自性について学びます。①レポート（R）では、中国仏教史の展開を押さえた上で、隋唐の実践的仏教の一宗派である三階教の思想と活動に焦点を当てて学んでいきます。②スクーリング（S）は、隋唐代に広く読まれた仏教文献、あるいは隋唐代に成立した仏教文献の中から重要なものを取り上げて講読します。令和2年度は、隋代の天台宗の文献で中国天台の大成者智顛が講義したものを弟子の灌頂がまとめたとされる『摩訶止観』を講読していく予定です。『摩訶止観』は、天台において仏道修行の根幹にすえる止観の実践について説いたテキストで、天台宗の思想と実践を理解する上で不可欠なものです。今年度は、『摩訶止観』の後半、巻第五（の上）の「正修」止観の箇所、十境十乗観法について輪読していきます。天台止観の中でも中心の一つに位置づけられる一念三千の止観など、天台の実践の核心を学ぶこととなります。天台における止観の特質について理解を深めるとともに、中国仏教の止観の実践の展開の中でどのように位置づけられるか、明らかにしていくことができればと思います。</p>	
	テキストの概要	西本照真編『資料集（中国仏教特講）』武蔵野大学大学院通信教育部。	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p>第1章 中国仏教史（1）（異宗教としての仏教の伝来と普及） 第2章 中国仏教史（2）（統一国家と仏教） 第3章 （特論1）三階教の思想と実践 第4章 （特論2）三階教研究の方法論的アプローチ</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		近代仏教特講
担当教員		碧海 寿広
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>近代日本における仏教の変遷と、代表的な仏教者たちの思想について学ぶことで、仏教近代化の帰結としての現代仏教の特質を理解する。特に、日本仏教が近代に直面したがゆえに生じた問題と、その克服のために生まれてきた思想の可能性について、多面的に捉えられる見識の獲得を目指す。</p> <p>ディプロマ・ポリシー「①仏教精神に則り学術の理論及び応用する能力を身につけていること」との関連性については、現代に生きる私たちにとって身近な近代の仏教について学習することで、仏教と現代世界とのかかわりを理論的・実践的に考える技術の習得が可能になる。</p>
	テキストの概要	碧海寿広編（2018）『資料集（近代仏教特講）』武蔵野大学大学院通信教育部
授業計画		<p>本学で開催される100分の講義（小テスト含む）を28時限受講することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：イントロダクション</p> <p>第02回：廃仏毀釈</p> <p>第03回：社会参加仏教</p> <p>第04回：戦争と仏教</p> <p>第05回：井上円了</p> <p>第06回：清沢満之</p> <p>第07回：近角常観</p> <p>第08回：親鸞と近代</p> <p>第09回：日蓮主義</p> <p>第10回：仏教メディア論</p> <p>第11回：近代仏教学</p> <p>第12回：日本仏教史</p> <p>第13回：仏教系大学</p> <p>第14回：高楠順次郎</p> <p>第15回：西田幾多郎</p> <p>第16回：葬式仏教</p> <p>第17回：巡礼と観光</p> <p>第18回：仏教民俗学</p> <p>第19回：古寺・仏像</p> <p>第20回：近代文学と仏教</p> <p>第21回：明治仏教の国際化</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第22回：海外布教の歴史 第23回：大谷光瑞 第24回：鈴木大拙と禅（Zen） 第25回：寺院仏教 第26回：妻帯仏教 第27回：瞑想ブームの背景 第28回：試験	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		近代仏教特講 (R)	
担当教員		碧海 寿広	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>近代日本における仏教の変遷と、代表的な仏教者たちの思想について学ぶことで、仏教近代化の帰結としての現代仏教の特質を理解する。特に、日本仏教が近代に直面したがゆえに生じた問題と、その克服のために生まれてきた思想の可能性について、多面的に捉えられる見識の獲得を目指す。</p> <p>ディプロマ・ポリシー「①仏教精神に則り学術の理論及び応用する能力を身につけていること」との関連性については、現代に生きる私たちにとって身近な近代の仏教について学習することで、仏教と現代世界とのかかわりを理論的・実践的に考える技術の習得が可能になる。</p>	
	テキストの概要	碧海寿広編 (2018) 『資料集 (近代仏教特講)』武蔵野大学大学院通信教育部	
授業計画		<p>4つのレポート (2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) をすべて提出し、単位認定申請レポートに合格することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>①「近代の仏教は、社会とどのように関わってきたのかを論じなさい」 (資料集第1章参照)</p> <p>②「近代仏教の思想について、その内容と現代的な意義を論じなさい」 (資料集第2章参照)</p> <p>③「近代の学者が、日本仏教をどう評価してきたのかを論じなさい」 (資料集第3章参照)</p> <p>④「近代の文化のなかで、仏教がいかに扱われてきたのかを論じなさい」 (資料集第4章参照)</p> <p>⑤「近代の仏教者が、海外の人々とどう関わってきたのかを論じなさい」 (資料集第5章参照)</p> <p>⑥「現代の仏教が直面している問題と、その解決策について論じなさい」 (資料集第6章参照)</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		東南アジア仏教特講
担当教員		山田 均
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	東南アジア・スリランカに行われている上座部仏教について、その教理、実践、社会との関係など総合的な知識を獲得し、振り返って日本の仏教についての理解を深める一助を得ること。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>本学で毎週行われる100分の講義を28回受講し、試験に合格することで4単位を取得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：イントロダクション</p> <p>第02回：上座部仏教の歴史（インド）</p> <p>第03回：上座部仏教の歴史（スリランカ）</p> <p>第04回：上座部仏教の歴史（ミャンマー）</p> <p>第05回：上座部仏教の歴史（タイ）</p> <p>第06回：上座部仏教の歴史（カンボジア、ラオス、雲南省）</p> <p>第07回：上座部仏教の教団生活</p> <p>第08回：上座部仏教の教団生活</p> <p>第09回：上座部仏教の教団生活</p> <p>第10回：上座部仏教の教団生活</p> <p>第11回：上座部仏教の在家信者生活</p> <p>第12回：上座部仏教の在家信者生活</p> <p>第13回：上座部仏教の在家信者生活</p> <p>第14回：まとめ</p> <p>第15回：上座部仏教と芸術（仏塔）</p> <p>第16回：上座部仏教と芸術（絵画）</p> <p>第17回：上座部仏教と芸術（仏像）</p> <p>第18回：上座部仏教と芸術（文学・芝居）</p> <p>第19回：上座部仏教と国家・教育</p> <p>第20回：上座部仏教と国家・教育</p> <p>第21回：上座部仏教と国家・教育</p> <p>第22回：上座部仏教と国家・教育</p> <p>第23回：まとめ</p> <p>第24回：上座部仏教と民間信仰（祖霊信仰）</p> <p>第25回：上座部仏教と民間信仰（超能力僧）</p> <p>第26回：上座部仏教と民間信仰（呪術）</p> <p>第27回：上座部仏教と民間信仰（その他）</p>

	第28回：まとめ	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		外国語仏教文献講読	
担当教員		A. チャールズ・ミュラー	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	英語で仏教について話せるようになる為、英語の仏教書を読む。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		スクーリングは、本学で毎週開催される100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。 〈スクーリング〉 第1～28回 Buddhist Thought を読んで、内容を議論する	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		浄土教特講 (S)
担当教員		石上 和敬
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本講義では、インドから東アジアに広く伝播した、阿弥陀仏を信仰対象とする浄土教の概要について、〈無量寿経〉、〈阿弥陀経〉、そして『観無量寿経』という三つの経典の所説に拠りながら確認していく。これら三経典を「浄土三部経」と総称されているが、この名称は法然の『選択本願念仏集』に始まり、親鸞によって受け継がれたものである。</p> <p>①レポート (R) では、上記の三経典を読解していくための基本思想として、阿弥陀仏と本願について理解する。その上で親鸞がこれら三経典をどのように受容しているのかを考察する。</p> <p>②スクーリング (S) では、上記の三経典の講読が講義の中心となる。(詳細は「スクーリングの講義内容」を参照のこと。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリングは本学で毎週開催される原則100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p>〈スクーリング〉</p> <p>第01回 イン트로ダクション</p> <p>第02回 〈無量寿経〉文献資料の概要①</p> <p>第03回 同②</p> <p>第04回 〈阿弥陀経〉文献資料の概要</p> <p>第05回 『観無量寿経』文献資料の概要</p> <p>第06回 浄土教の基本思想① 阿弥陀仏</p> <p>第07回 同② 本願</p> <p>第08回 同③ 浄土</p> <p>第09回 同④ 往生</p> <p>第10回 同⑤ 念仏</p> <p>第11回 〈無量寿経〉読解①</p> <p>第12回 同②</p> <p>第13回 同③</p> <p>第14回 同④</p> <p>第15回 同⑤</p> <p>第16回 同⑥</p> <p>第17回 同⑦</p> <p>第18回 同⑧</p> <p>第19回 同⑨</p> <p>第20回 同⑩</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 21 回 同① 第 22 回 同② 第 23 回 <阿弥陀経> 読解① 第 24 回 同② 第 25 回 同③ 第 26 回 『観無量寿経』 読解① 第 27 回 同② 第 28 回 同③
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b : 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		浄土教特講 (R)	
担当教員		石上 和敬・前田 壽雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本講義では、インドから東アジアに広く伝播した、阿弥陀仏を信仰対象とする浄土教の概要について、〈無量寿経〉、〈阿弥陀経〉、そして『観無量寿経』という三つの経典の所説に拠りながら確認していく。これら三経典を「浄土三部経」と総称されているが、この名称は法然の『選択本願念仏集』に始まり、親鸞によって受け継がれたものである。</p> <p>①レポート (R) では、上記の三経典を読解していくための基本思想として、阿弥陀仏と本願について理解する。その上で親鸞がこれら三経典をどのように受容しているのかを考察する。</p> <p>②スクーリング (S) では、上記の三経典の講読が講義の中心となる。(詳細は「スクーリングの講義内容」を参照のこと。</p>	
	テキストの概要	前田壽雄編『資料集 (浄土教特講)』武蔵野大学大学院通信教育部。	
授業計画		<p>4つのレポート (2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出、合格することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>資料1 藤田宏達「浄土三部経の思想と解釈」(『浄土三部経の研究』、岩波書店、2007年)</p> <p>資料2 村上速水「三部経の教え」(『親鸞教義とその背景』、永田文昌堂、1987年)</p> <p>資料3 浅井成海「教文類」解説(『教行信証』の研究 第一巻 『『顕浄土真実教行証文類』解説論集』、浄土真宗本願寺派総合研究所監修、2012年)</p> <p>資料4 前田壽雄「親鸞における法蔵菩薩の修行とその現代的意義」(『慈光法喜 武田龍精先生喜寿記念』法喜会編、2017年)</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		東南アジア仏教特講（R）	
担当教員		山田 均	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	東南アジア・スリランカに行われている上座部仏教について、その教理、実践、社会との関係など総合的な知識を獲得し、振り返って日本の仏教についての理解を深める一助を得ること。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>①上座部仏教の僧と在家の関係について</p> <p>②上座部仏教の信仰の内容について</p> <p>③上座部仏教は日本で布教できるか</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		浄土教理史
担当教員		梯 信暁
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	浄土教教理学の立場から、インド・中国における阿弥陀仏信仰の展開と浄土教教理の形成に関する知識ならびに漢文資料の解読に必要な能力を身につけます。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>本科目は、スクーリングの学習方法で開講されます。スクーリングは、本学で開催される講義 (100分の講義を28時限)を受講し、試験に合格することで4単位を修得します。 <スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 01. インド・中国の浄土教概観 02. 浄土教経典概観 03. 『無量寿経』概観 04. 『阿弥陀経』 『般舟三昧経』 概観 05. 『観無量寿経』 概観 06. 『無量寿経』 要文講読 07. 『無量寿経』 要文講読 08. 『無量寿経』 要文講読 09. 『阿弥陀経』 要文講読 10. 『観無量寿経』 要文講読 11. 龍樹・世親の浄土教論書概観 12. 「易行品」要文講読 13. 『浄土論』 要文講読 14. 中国南北朝時代の浄土教概観 15. 廬山慧遠の浄土教概観 16. 曇鸞の生涯と著述概観 17. 『往生論註』 要文講読 18. 『往生論註』 要文講読 19. 『往生論註』 要文講読 20. 『往生論註』 要文講読 21. 天台・三論の浄土教概観 22. 浄影寺慧遠の浄土教概観 23. 摂論・法相の浄土教概観 24. 道綽の生涯と著述概観 25. 『安楽集』 要文講読 26. 善導の生涯と著述概観 27. 『観経疏』 要文講読

	28. 『観経疏』要文講読	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		真宗概論（S）
担当教員		前田 壽雄
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>親鸞が開頭した浄土真宗を研究対象とする学問を「真宗学」という。親鸞が顕した「浄土真宗」とは、宗派や教団を意味するのではなく、往生浄土を説く真実の教である。すなわち、真実の教である『大無量寿経』に説かれた阿弥陀仏の選択本願を指し、具体的には他力の念仏成仏の教えをいう。その教えは、親鸞の主著である『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』、『教行証文類』）に組織体系化されている。</p> <p>『教行信証』とは、浄土三部経（『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』）や七高僧（龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・源空）の著述を中心として、さまざまな浄土往生に関する経論釈の要文を集めた文類の形式を採用したうえに、親鸞が自釈を施した畢生の大著である。そこには親鸞自身の深遠な思索とそれを裏づけた宗教体験が結実されている。</p> <p>本科目では、親鸞浄土教における重要な用語を手がかりとして、『教行信証』をはじめ、親鸞の他の漢語・和語聖教を読解することで、浄土真宗とは如何なる仏教であるのかを理解していく。そのうえで真宗教義の根拠を明確に押さえつつ、自分なりに咀嚼して、わかりやすく解説できる能力を修得することを目標とする。</p>
	テキストの概要	前田壽雄編『資料集（真宗概論）』武蔵野大学大学院通信教育部。
授業計画		<p>スクーリングは本学で毎週開催される原則100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>資料1 桐溪順忍『親鸞はなにを説いたか』（教育新潮社、1964年）第四章 親鸞の仏教観—教相判釈—</p> <p>資料2 浅井成海『法然とその門弟の教義研究—法然の基本教義の継承と展開—』（永田文昌堂、2004年）第二章 法然とその門弟の本願論 第四節 親鸞の本願論</p> <p>資料3 梯 實圓『教行信証の宗教構造—真宗教義体系—』（法蔵館、2001年）第四章 真実の行</p> <p>資料4 梯 實圓『教行信証の宗教構造—真宗教義体系—』（法蔵館、2001年）第六章 真実の信</p> <p>資料5 前田壽雄「親鸞における智慧」（ケネス田中編、『智慧の潮—親鸞の智慧・主体性・社会性 Shinshu Theology から見えてくる新しい水平線』、武蔵野大学出版会、2017年）</p> <p>資料6 浅井成海『法然とその門弟の教義研究—法然の基本教義の継承と展開—』（永田文昌堂、2004年）第三章 法然とその門弟の菩提心論 第四節 親鸞の菩提心論</p> <p>資料7 前田壽雄「親鸞における正定聚論」（『人間学研究論集』第2号、武蔵野大学通信教育部、2012年）</p>

	<p>資料8 前田壽雄「親鸞聖人における来迎の問題」(『宗学院論集』第78号、浄土真宗本願寺派宗学院、2002年)</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 浄土真宗 第02回 『教行信証』の概要 第03回 真実の願と方便の願 第04回 正信念仏偈(依経段) 第05回 <無量寿経>と親鸞 第06回 正信念仏偈(依釈段) 第07回 龍樹と親鸞—難易二道 第08回 天親と親鸞—宣布一心 第09回 曇鸞と親鸞—顕示他力① 第10回 曇鸞と親鸞—顕示他力② 第11回 曇鸞と親鸞—顕示他力③ 第12回 道綽と親鸞—聖浄二門 第13回 善導と親鸞—古今楷定 ① 第14回 善導と親鸞—古今楷定 ② 第15回 源信と親鸞—報化二土 第16回 源空と親鸞—選択本願 第17回 『教行信証』「信卷」の意義 第18回 嘆徳出願・<無量寿経>引文 第19回 曇鸞引文(二不知三不信・讚阿弥陀仏偈) 第20回 至誠心積 第21回 深心積 第22回 回向発願心積 第23回 二河譬(二河白道) 第24回 三一問答 字訓積 第25回 至心積 第26回 信楽積 第27回 欲生積 第28回 正定聚の機、まとめ、試験</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員
	授業内容との 関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を真宗学の観点を中心として、解説する。
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	真宗概論 (R)
担当教員	前田 壽雄
授業方法	講義
科目の概要	<p>親鸞が開頭した浄土真宗を研究対象とする学問を「真宗学」という。親鸞が顕した「浄土真宗」とは、宗派や教団を意味するのではなく、往生浄土を説く真実の教である。すなわち、真実の教である『大無量寿経』に説かれた阿弥陀仏の選択本願を指し、具体的には他力の念仏成仏の教えをいう。その教えは、親鸞の主著である『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』、『教行証文類』）に組織体系化されている。</p> <p>『教行信証』とは、浄土三部経（『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』）や七高僧（龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・源空）の著述を中心として、さまざまな浄土往生に関する経論釈の要文を集めた文類の形式を採用したうえに、親鸞が自釈を施した畢生の大著である。そこには親鸞自身の深遠な思索とそれを裏づけた宗教体験が結実されている。</p> <p>本科目では、親鸞浄土教における重要な用語を手がかりとして、『教行信証』をはじめ、親鸞の他の漢語・和語聖教を読解することで、浄土真宗とは如何なる仏教であるのかを理解していく。そのうえで真宗教義の根拠を明確に押さえつつ、自分なりに咀嚼して、わかりやすく解説できる能力を修得することを目標とする。</p>
	テキストの概要
授業計画	<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出,合格することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>資料1 桐溪順忍『親鸞はなにを説いたか』（教育新潮社、1964年）第四章 親鸞の仏教観—教相判釈—</p> <p>資料2 浅井成海『法然とその門弟の教義研究—法然の基本教義の継承と展開—』（永田文昌堂、2004年）第二章 法然とその門弟の本願論 第四節 親鸞の本願論</p> <p>資料3 梯 實圓『教行信証の宗教構造—真宗教義体系—』（法蔵館、2001年）第四章 真実の行</p> <p>資料4 梯 實圓『教行信証の宗教構造—真宗教義体系—』（法蔵館、2001年）第六章 真実の信</p> <p>資料5 前田壽雄「親鸞における智慧」（ケネス田中編、『智慧の潮—親鸞の智慧・主体性・社会性 Shinshu Theology から見えてくる新しい水平線』、武蔵野大学出版会、2017年）</p> <p>資料6 浅井成海『法然とその門弟の教義研究—法然の基本教義の継承と展開—』（永田文昌堂、2004年）第三章 法然とその門弟の菩提心論 第四節 親鸞の菩提心論</p> <p>資料7 前田壽雄「親鸞における正定聚論」（『人間学研究論集』第2号、武蔵野大学通信教育部、2012年）</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	資料8 前田壽雄「親鸞聖人における来迎の問題」(『宗学院論集』第78号、浄土真宗本願寺派宗学院、2002年)	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を真宗学の観点を中心として、解説する。
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		比較宗教特論
担当教員		寺田 喜朗
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	様々な宗教の成立・展開の過程を社会・文化的観点から辿り、それぞれの宗教の特性と共通性を明らかにすることを目的とする。1～14回は、アニミズムやシャーマニズム等の原始宗教、ユダヤ教、キリスト教、イスラームについて、15～28回目は、日本の神道、仏教、および民俗宗教や新宗教について、信念体系・儀礼実践・組織構造の観点から鳥瞰する。それぞれの宗教がそれぞれの社会・時代において果たしてきた役割・機能を考え、人々の価値観や社会生活に与える影響を考察する。
	テキストの概要	本科目はスクーリングだけの開講であるため、資料集は配布しません。
授業計画		<p>スクーリングは、本学で開催される集中講義（100分の講義を28時限）を受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 イントロダクション : 「宗教」という概念について考える</p> <p>第02回 宗教学の鍵概念① : アニミズム・マナ・トーテミズム</p> <p>第03回 宗教学の鍵概念② : シャーマニズム</p> <p>第04回 原始宗教と神話 : 神話の分布やモチーフについて概観する</p> <p>第05回 原始社会における宗教 : 農耕儀礼と宗教</p> <p>第06回 世界宗教の理解/ユダヤ・キリスト教① : ユダヤ教の成立と展開について概観する</p> <p>第07回 世界宗教の理解/ユダヤ・キリスト教② : ユダヤ教の成立と展開について概観する</p> <p>第08回 世界宗教の理解/キリスト教③ : キリスト教の成立と展開について概観する</p> <p>第09回 世界宗教の理解/キリスト教④ : キリスト教の成立と展開について概観する</p> <p>第10回 世界宗教の理解/キリスト教⑤ : キリスト教の成立と展開について概観する</p> <p>第11回 世界宗教の理解/イスラーム① : イスラームの成立と展開について概観する</p> <p>第12回 世界宗教の理解/イスラーム② : イスラームの成立と展開について概観する</p> <p>第13回 世界宗教の理解/イスラーム③ : イスラームの成立と展開について概観する</p> <p>第14回 世界宗教の理解/前半のまとめ</p> <p>第15回 日本宗教の理解/神祇信仰と神道① : 神道の成立と展開について概観する</p> <p>第16回 日本宗教の理解/神祇信仰と神道② : 神道の成立と展開について概観する</p> <p>第17回 日本宗教の理解/飛鳥・奈良時代の仏教 : 仏教伝来と鎮護国家</p> <p>第18回 日本宗教の理解/平安時代の仏教① : 最澄と天台宗について概観する</p> <p>第19回 日本宗教の理解/平安時代の仏教② : 空海と真言宗について概観する</p> <p>第20回 日本宗教の理解/鎌倉時代の仏教① : 法然と浄土宗について概観する</p> <p>第21回 日本宗教の理解/鎌倉時代の仏教② : 栄西・道元と臨済禅・曹洞禅について概観する</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 22 回 日本宗教の理解／鎌倉時代の仏教③ : 親鸞と日蓮について概観する 第 23 回 日本宗教の理解／中世の仏教 : 権門体制・顕密体制と神仏習合について概観する 第 24 回 日本宗教の理解／近世の宗教 : 江戸幕府の宗教政策とイエと村の宗教 第 25 回 日本宗教の理解／近代における宗教① : 神仏判然令と切支丹解禁 第 26 回 日本宗教の理解／近代における宗教② : 三条の教則と大教院制度 第 27 回 日本宗教の理解／近代における宗教③ : 新宗教の多様性 第 28 回 日本宗教の理解／まとめ
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b : 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		人間倫理特論	
担当教員		一ノ瀬 正樹・高橋 晃一	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	他者とともに社会を構築して生きる個人の諸問題を考えるうえで重要な、(1)死生の問題、(2)他者問題について、諸立場について一定の理解をうるとともに、問題に向かう基本的姿勢を培うことを目指す。具体的事例として、(3)仏教思想においてこの問題がいかに捉えられるかを、他の宗教や思想と比較しつつ理解する。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリングは、本学で開催される集中講義（100分の講義を計28時限）を受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>（前半）（一ノ瀬担当）</p> <p>第1講(1-5時限) 倫理学の基礎となる義務、功利、権利、所有などについて検討する。</p> <p>第2講(6-10時限) 死刑存廃論、安楽死、死ぬ権利など、具体的問題を論じる。</p> <p>第3講(11-15時限) 引き続き、生殖医療の問題、戦争倫理、動物倫理などを取り上げる。</p> <p>（後半）（高橋担当）</p> <p>第4講(15-19時限) 初期仏教からアビダルマまで思想を概観する。</p> <p>第5講(20-24時限) 大乘経典および中観、唯識思想に見られる人間観について考察する。</p> <p>第6講(25-28時限) 空や無我という観念と倫理思想の関係を考察する。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		

備考

科目名		西洋思想特講（SR）
担当教員		富山 豊
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	「自ら哲学的に考える」と言っても、手掛かりなしにはどのように「考え」ればよいのなかなかかわからないものです。そのため、まずは過去の議論や学説を正しく理解してもらうことを目指します。その上で、それぞれの議論や学説にどのような長所や短所があるのか、自分で様々な具体例を考えながら検討できるようになることが目標です。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で開催される原則100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 意味 第2章 知識 第3章 倫理 第4章 心と自己</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回： 言葉の意味とは何か：指示対象説・観念説・辞書説 第02回： 使用説と真理条件意味論 第03回： 検証主義的意味論 第04回： 自然主義的意味論 第05回： 知識とは何か：デカルトの方法的懐疑 第06回： 知識の古典的定義とゲティア反例 第07回： 因果説・信頼性主義・ドレッキの知識論 第08回： ノージックの知識論 第09回： 倫理とは何か：功利主義 第10回： カント倫理学 第11回： 規則功利主義・社会契約説 第12回： 心と自己：心身二元論と心身因果 第13回： ハイデガーの自己理論 第14回： まとめ</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		西洋思想特講 (R)	
担当教員		富山 豊	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	「自ら哲学的に考える」と言っても、手掛かりなしにはどのように「考え」ればよいのなかなかかわからないものです。そのため、まずは過去の議論や学説を正しく理解してもらうことを目指します。その上で、それぞれの議論や学説にどのような長所や短所があるのか、自分で様々な具体例を考えながら検討できるようになることが目標です。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。 〈自宅学習〉 第1章 意味 第2章 知識 第3章 倫理 第4章 心と自己	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		仏教文化特講（SR）
担当教員		下野 玲子・種村 隆元
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この「仏教文化特講」では、仏教における文化的側面、その中でも仏教儀礼と仏教美術について掘り下げて学習していくことになります。</p> <p>第1部の仏教儀礼では、インド密教における「プラティシュター」と呼ばれる尊像奉納儀礼を題材に取り上げ、その儀礼の概要、特色、さらに儀礼の社会的背景や教理との関係についての考察を通して、儀礼に対するアプローチの一例を紹介していきます。そしてこのプラティシュター儀礼の考察を通して、各自が儀礼を理論化し、それを他の分野に適用する応用力を養うことを目指します。</p> <p>第2部の仏教美術では、平安時代後期の貴族・大江親通が著した『七大寺日記』を読み、仏典その他の文献または図像を用いて、仏教美術をどのように解釈するかを学んでゆきます。日本の仏教美術史研究における基礎的な方法を経験することにより、学術の理論と応用力を身につけることを目指します。</p>
	テキストの概要	種村隆元・下野玲子編（2012）『資料集（仏教文化特講）』武蔵野大学大学院通信教育部
授業計画		<p>スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で開催される100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：仏教儀礼1 インド密教について 第02回：仏教儀礼2 インド密教におけるプラティシュター儀礼について(1) 第03回：仏教儀礼3 インド密教におけるプラティシュター儀礼について(2) 第04回：仏教儀礼4 『ヴァジラーヴァリー』プラティシュター章を読む 第05回：仏教儀礼5 『ヴァジラーヴァリー』プラティシュター章を読む 第06回：仏教儀礼6 『所作集註』プラティシュター章を読む 第07回：仏教儀礼分野試験および解説 第08回：仏教美術1 『七大寺日記』と関連資料について 第09回：仏教美術2 『七大寺日記』前文と東大寺条を読む 第10回：仏教美術3 『七大寺日記』前文と東大寺条を読む 第11回：仏教美術4 『七大寺日記』東大寺条を読む 第12回：仏教美術5 『七大寺日記』東大寺条を読む 第13回：仏教美術6 『七大寺日記』東大寺条と美術の復元的考察 第14回：仏教美術分野試験および解説</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 仏教儀礼</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第1章 密教儀礼の資料 第2章 尊像奉納儀礼の概要 第3章 (特論1) 『所作集註』の尊像奉納儀礼に見られる「十の儀礼」とその背景について 第4章 (特論2) インド密教における尊像奉納儀礼の意味—9種類の灌頂に関するアバヤ—カラグプタの議論— 第2部 仏教美術 第1章 『七大寺日記』東大寺条の読解と東大寺美術の研究 第2章 東大寺美術の研究史	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		仏教文化特講（R）	
担当教員		下野 玲子・種村 隆元	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この「仏教文化特講」では、仏教における文化的側面、その中でも仏教儀礼と仏教美術について掘り下げて学習していただくことになります。</p> <p>第1部の仏教儀礼では、インド密教における「プラティシュター」と呼ばれる尊像奉納儀礼を題材に取り上げ、その儀礼の概要、特色、さらに儀礼の社会的背景や教理との関係についての考察を通して、儀礼に対するアプローチの一例を紹介していきます。そしてこのプラティシュター儀礼の考察を通して、各自が儀礼を理論化し、それを他の分野に適用する応用力を養うことを目指します。</p> <p>第2部の仏教美術では、平安時代後期の貴族・大江親通が著した『七大寺日記』を読み、仏典その他の文献または図像を用いて、仏教美術をどのように解釈するかを学んでゆきます。日本の仏教美術史研究における基礎的な方法を経験することにより、学術の理論と応用力を身につけることを目指します。</p>	
	テキストの概要	種村隆元・下野玲子編（2012）『資料集（仏教文化特講）』武蔵野大学大学院通信教育部	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 仏教儀礼</p> <p>第1章 密教儀礼の資料</p> <p>第2章 尊像奉納儀礼の概要</p> <p>第3章 （特論1）『所作集註』の尊像奉納儀礼に見られる「十の儀礼」とその背景について</p> <p>第4章 （特論2）インド密教における尊像奉納儀礼の意味—9種類の灌頂に関するアバヤーカーラグプタの議論—</p> <p>第2部 仏教美術</p> <p>第1章 『七大寺日記』東大寺条の読解と東大寺美術の研究</p> <p>第2章 東大寺美術の研究史</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		真宗史（S）（院）
担当教員		岡村 喜史
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	①真宗史に関する専門的知識を修得する。 ②講義内容を踏まえて、自身で独自の課題や疑問点を導き出し、それに取り組むようにする。
	テキストの概要	岡村喜史編（2018）『資料集（真宗史）』武蔵野大学通信教育部
授業計画		<p>スクーリングは本学で開催される集中講義（100分の講義を計28時限）を受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：オリエンテーション 第02回：親鸞伝の基礎 第03回：日本仏教の変遷 第04回：親鸞の出自と系譜 第05回：親鸞の出家 第06回：天台僧としての親鸞 第07回：専修念仏への帰入 第08回：法然門下の親鸞 第09回：流罪 第10回：親鸞の結婚 第11回：親鸞の関東移住 第12回：関東での親鸞 第13回：帰洛 第14回：描かれた親鸞像 第15回：親鸞廟堂 第16回：留主職 第17回：覚如 第18回：蓮如の誕生 第19回：蓮如の活動 第20回：晩年の蓮如 第21回：大坂本願寺 第22回：「石山合戦」 第23回：豊臣秀吉と本願寺 第24回：本願寺の東西分派 第25回：江戸時代の西本願寺教団 第26回：近代の西本願寺教団</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 27 回：真宗美術 第 28 回：講義のまとめ（試験）	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		真宗史（R）（院）	
担当教員		岡村 喜史	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	①真宗史に関する専門的知識を修得する。 ②講義内容を踏まえて、自身で独自の課題や疑問点を導き出し、それに取り組むようにする。	
	テキストの概要	岡村喜史編（2018）『資料集（真宗史）』武蔵野大学通信教育部	
授業計画		4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格して単位認定申請のレポートを提出することで4単位を修得します。 〈自宅学習〉 第1章 親鸞の生涯を学ぶ 第2章 本願寺の成立 第3章 蓮如と本願寺教団 第4章 戦国期以降の本願寺教団	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		真宗文献講読
担当教員		田中 教照
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	到達目標は、漢文の文献を読めること。様々な文献を原点にさかのぼって理解できること。宗教経験について理解できること。自分の考えを論理的に分かり易く表現できること、です。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>本科目は、スクーリングだけの学習方法で開講されます。 100分の講義を28時限受講し、試験に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回：『教行信証』行巻の出体出願 第2回：異訳の願文の比較研究 第3回：『平等覚経』の講読 第4回：称名破満 第5回：『十住毘婆沙論』の講読（1） 第6回：『十住毘婆沙論』の講読（2） 第7回：『十住毘婆沙論』の講読（3） 第8回：『十住毘婆沙論』の講読（4） 第9回：「念仏の功」、論註の講読 第10回：論註の講読（2） 第11回：「念仏三昧」、『安楽集』の講読 第12回：聞名の徳、『讚阿弥陀仏偈』以下の講読 第13回：善導大師の諸書の講読（1） 第14回：善導大師の諸書の講読（2） 第15回：六字釈 第16回：『法事讃』の講読 第17回：『述文賛』の講読 第18回：『楽邦文類』の講読 第19回：元照律師以下諸師の講読 第20回：『往生要集』の講読 第21回：行信利益、両重因縁の研究 第22回：一念について 第23回：大行釈結嘆 第24回：他力釈、論註の講読 第25回：一乗海釈、『涅槃経』の講読 第26回：一乗海釈、『論註』の講読</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 27 回：一乗嘆徳 第 28 回：まとめ	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		発達心理学特講（R）	
担当教員		今福 理博	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	遺伝要因と環境要因の影響について、「両方とも大切」というような表層的な理解ではなく、学問的に正確に理解することが目標です。	
	テキストの概要	高橋晃編『資料集（発達心理学特講）』武蔵野大学大学院通信教育部	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 発達における生得的要因 第2章 子どもと映像メディア 第3章 文化の中の子ども 第4章 日米の子ども向け映画に関する文献</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		認知心理学特講（SR）
担当教員		栗山 直子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	本講義では、身体と外界認知に関する基礎と新たな研究知見を紹介しながら、それに神経疾患が与える影響を考え、私たちの意識が複雑な認知過程を背景にしていることの理解を深めることを目標とします。
	テキストの概要	新美亮輔編『資料集（認知心理学特講）』武蔵野大学大学院通信教育部
授業計画		<p>スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で集中開催される100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 認知とは？</p> <p>第02回 学習と行動</p> <p>第03回 認知の発達</p> <p>第04回 記憶</p> <p>第05回 視覚情報処理とイメージ</p> <p>第06回 推論</p> <p>第07回 問題解決</p> <p>第08回 言語</p> <p>第09回 意思決定</p> <p>第10回 コミュニケーション</p> <p>第11回 体性感覚・感覚間統合と身体表象</p> <p>第12回 神経疾患による身体表象の変容</p> <p>第13回 脳損傷による認知の変容</p> <p>第14回 試験</p> <p><自宅学習></p> <p>【資料01】「認知科学とは何か」</p> <p>【資料02】「学習心理学の歴史」</p> <p>【資料03】「注意とは何か」</p> <p>【資料04】「注意研究の進展」</p> <p>【資料05】「短期記憶と作動記憶」</p> <p>【資料06】「読みとワーキングメモリ容量—日本語版リーディングスパンテストによる測定—」</p> <p>【資料07】「物を認識するしくみ：視覚物体認識」</p> <p>【資料08】「視覚物体認知における上位概念と表面特徴の影響」</p> <p>【資料09】「新生児の初期視覚認知」</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	<p>【資料 10】 「脳損傷にみる意識」</p> <p>【資料 11】 子どもの類推の発達-関係類似性に基づく推論-</p> <p>【資料 12】 類似性と近接性-人間の認知の特徴について-</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		認知心理学特講 (R)	
担当教員		栗山 直子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	本講義では、身体と外界認知に関する基礎と新たな研究知見を紹介しながら、それに神経疾患が与える影響を考え、私たちの意識が複雑な認知過程を背景にしていることの理解を深めることを目標とします。	
	テキストの概要	新美亮輔編『資料集（認知心理学特講）』武蔵野大学大学院通信教育部	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>【資料01】「認知科学とは何か」</p> <p>【資料02】「学習心理学の歴史」</p> <p>【資料03】「注意とは何か」</p> <p>【資料04】「注意研究の進展」</p> <p>【資料05】「短期記憶と作動記憶」</p> <p>【資料06】「読みとワーキングメモリ容量—日本語版リーディングスパンテストによる測定—」</p> <p>【資料07】「物を認識するしくみ：視覚物体認識」</p> <p>【資料08】「視覚物体認知における上位概念と表面特徴の影響」</p> <p>【資料09】「新生児の初期視覚認知」</p> <p>【資料10】「脳損傷にみる意識」</p> <p>【資料11】子どもの類推の発達-関係類似性に基づく推論-</p> <p>【資料12】類似性と近接性-人間の認知の特徴について-</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	
		c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的
備考	

科目名		人格心理学特講（SR）
担当教員		高橋 恵理子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	到達目標は、心理学の歴史におけるパーソナリティ研究の位置づけと発展の歴史を踏まえて、パーソナリティについて、その定義、理論、測定法、研究法、変容の方法等について、幅広い知識を習得することである。パーソナリティという複雑で多面的な概念について、心理学という学問の立場から、柔軟に、かつ科学的に理解し、日常においても自分や他者を理解する際に役立ててほしい。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得する。スクーリングは、本学で開催される原則100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得する。レポートは、2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得する。</p> <p><自宅学習></p> <p>資料集1 宮本浩紀 『信州豊南短期大学紀要』 2015年 p.45?647</p> <p>資料集2 小塩真司 『Japanese Psychological Review』 2016年 Vol. 59 No. 1</p> <p>資料集3 村山航 『The Annual Report of Educational Psychology』 2012年 Vol. 51 p.118?130</p> <p>資料集4 小塩真司・阿部晋吾・カトローニ・ピノ 『パーソナリティ研究』 2012年 Vol. 21 No. 1 p.40?52</p> <p>資料集5 国里愛彦・山口陽弘・鈴木伸一 『パーソナリティ研究』 2008年 Vol. 16 No. 3 p.324?334</p> <p>資料集6 安保恵理子・須賀千奈・根建金男 『パーソナリティ研究』 2012年 Vol. 20 No. 3 p.155-166</p> <p>資料集7 阿部ひと美・今井正司・根建金男 『パーソナリティ研究』 2013年 Vol. 21 No. 3 p.203?215</p> <p>資料集8 宮川充司 『椛山女学園大学教育学部紀要』 2012年 Vol. 5 p.107?114</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 イントロダクション</p> <p>第02回 パーソナリティとは</p> <p>第03回 パーソナリティに関する諸理論</p> <p>第04回 パーソナリティのアセスメント法</p> <p>第05回 パーソナリティの自己分析</p> <p>第06回 Cloninerの気質・性格モデル</p> <p>第07回 Big Five モデル</p> <p>第08回 認知行動理論</p> <p>第09回 パーソナル・コンストラクト理論</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第10回 パーソナリティ研究についてのディスカッション 第11回 パーソナリティ障害とは 第12回 発達障害、うつ、不安とパーソナリティ 第13回 パーソナリティと精神的問題についてのディスカッション 第14回 レポートの作成と提出	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		人格心理学特講 (R)
担当教員		高橋 恵理子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	到達目標は、心理学の歴史におけるパーソナリティ研究の位置づけと発展の歴史を踏まえて、パーソナリティについて、その定義、理論、測定法、研究法、変容の方法等について、幅広い知識を習得することである。パーソナリティという複雑で多面的な概念について、心理学という学問の立場から、柔軟に、かつ科学的に理解し、日常においても自分や他者を理解する際に役立ててほしい。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得する。</p> <p><自宅学習></p> <p>資料集1 宮本浩紀 『信州豊南短期大学紀要』 2015年 p.45?64</p> <p>資料集2 小塩真司 『Japanese Psychological Review』 2016年 Vol. 59 No. 1</p> <p>資料集3 村山航 『The Annual Report of Educational Psychology』 2012年 Vol. 51 p.118?130</p> <p>資料集4 小塩真司・阿部晋吾・カトローニ・ピノ 『パーソナリティ研究』 2012年 Vol. 21 No. 1 p.40?52</p> <p>資料集5 国里愛彦・山口陽弘・鈴木伸一 『パーソナリティ研究』 2008年 Vol. 16 No. 3 p.324?334</p> <p>資料集6 安保恵理子・須賀千奈・根建金男 『パーソナリティ研究』 2012年 Vol. 20 No. 3 p.155-166</p> <p>資料集7 阿部ひと美・今井正司・根建金男 『パーソナリティ研究』 2013年 Vol. 21 No. 3 p.203?215</p> <p>資料集8 宮川充司 『椋山女学園大学教育学部紀要』 2012年 Vol. 5 p.107?114</p>
成績評価の方法		単位認定試験
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会心理学特講 (SR)	
担当教員		小西 啓史	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	社会心理学の研究方法を学んだのち、現代社会心理学の主要トピックを取り上げて解説します。具体的には、社会的影響過程（同調行動、服従、説得的コミュニケーションなど）、自己提示などです。これらを学ぶことによって、社会心理学に関する基礎的知識を身につけることをめざします。レポート課題については、上記①のうち集団過程（文化を中心に）に関する文献を講読します。	
	テキストの概要	小西啓史編『資料集（社会心理学特講）』武蔵野大学大学院通信教育部 資料1 社会的反響 資料2 依頼と要請 資料3 個人主義と集団主義 資料4 空間とコミュニケーション	
授業計画		スクーリングとレポートを合わせて4単位を修得します。スクーリングは本学で集中開催される100分の講義を14時限受講し、試験に合格することで2単位を修得し、レポートは2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。 <スクーリング> 第01回 社会心理学研究法(1)：観察 第02回 社会心理学研究法(2)：実験 第03回 社会心理学研究法(3)：調査 第04回 社会的影響過程(1)：社会的規範の成立 第05回 社会的影響過程(2)：同調行動 第06回 社会的影響過程(3)：服従の心理 第07回 説得的コミュニケーション(1)：説得とは、情報の信憑性 第08回 説得的コミュニケーション(2)：一面的・両面的コミュニケーション、恐怖アピール、予防接種効果 第09回 説得的コミュニケーション(3)：段階的要請法 第10回 説得的コミュニケーション(4)：譲歩的要請法 第11回 説得的コミュニケーション(5)：承諾先取り法 第12回 説得的コミュニケーション(6)：ヒューリスティック 第13回 自己提示(1)：釈明 第14回 自己提示(2)：ゼルフ・ハンディキャッピング	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		社会心理学特講 (R)	
担当教員		小西 啓史	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	社会的影響過程に関する文献、集団過程（文化を中心に）に関する文献を講読することによって、社会心理学に関する基礎知識を身につけ、日常場面で起こる社会的現象の理解と知識の応用が可能になることをめざします。	
	テキストの概要	小西啓史編『資料集（社会心理学特講）』武蔵野大学大学院通信教育部 資料1 社会的反響 資料2 依頼と要請 資料3 個人主義と集団主義 資料4 空間とコミュニケーション	
授業計画		4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。 〈自宅学習〉 資料1 社会的影響 資料2 依頼と要請 資料3 個人主義と集団主義 資料4 空間とコミュニケーション	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			
備考			

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		環境心理学特講（R）	
担当教員		立川 公子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	uhou	
	テキストの概要	村松陸雄編『資料集（環境心理学特講）』武蔵野大学大学院通信教育部.	
授業計画		<p>4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 住居の環境心理学 第2章 都市の環境心理学 第3章 自然の環境心理学 第4章 限りある資源の管理</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		メンタルヘルス特論	
担当教員		野口 普子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	メンタルヘルスとは、精神的健康、心の健康、精神保健、精神衛生などと称され、主に精神的な疲労、ストレス、悩みなどの軽減や緩和とそれへのサポート、メンタルヘルス対策、あるいは精神保健医療のように精神障害の予防と回復を目的とした場面で使われる。ここでは、メンタルヘルスについての理解を深めるとともに、心と体の関係について整理しながら、精神健康の維持増進について理解を深める。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>本校で行われるスクーリングに 2/3 以上出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講：メンタルヘルスとは 第02講：ストレスについて 第03講：メンタルヘルスについて理解するために：理論編 第04講：うつについて 第05講：不安について 第06講：心身相関現象について 第07講：前半の振り返りとまとめ 第08講：循環器疾患とメンタルヘルス 第09講：慢性疾患とメンタルヘルス 第10講：がんとメンタルヘルス 第11講：自殺について 第12講：労働者のメンタルヘルス 第13講：セルフケアについて 第14講：単位認定試験</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		ケースワーク特論 (R) (人間__人間)	
担当教員		矢野 明宏	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本講義では、社会福祉援助技術の一つであるケースワークについて、その歴史、基本概念とその技法を習得することによって、社会福祉援助活動についての理解を深めていく。そのことを通して、現代社会の中で適応困難（生活のしづらさ）をきたしている人たちの心理や行動（社会環境との関係も含む）を理解する能力を身につけることを目標とする。具体的には、ソーシャルワークの体系、ケースワークの歴史、構造、定義、視点・モデルの理解、ソーシャルワークの価値・倫理、対象者の援助・支援に必要なスキル、アセスメント・プランニングなどの展開過程、面接技法を理解し、それらをふまえて社会福祉援助活動についての理解を深めることになる。</p>	
	テキストの概要	堀千鶴子編『資料集（ケースワーク特論）』武蔵野大学大学院通信教育部	
授業計画		<p>本科目では、4つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習> 資料1～資料6</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		ターミナルケア特論（S）
担当教員		打本 弘祐・小西 達也・戸松 義晴
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>ケアの基本は、ケア対象者を1人のかけがえのない人間として捉え、ケア対象者と全人格的に向き合うことにある。</p> <p>特にターミナルケアの現場では、その本質的な実践が求められる。本講では、そうしたケアの基本を徹底的に身につけると同時に、実際のターミナルケアの現場で直面する諸問題についての洞察を深め、ターミナルケア提供者に求められる総合的な能力の育成を目的とする。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリングは、本学で開催される集中講義（100分の講義を28時限）を受講し、前期授業（第1回～14回）の課題、後期前半授業（第15～22回）の課題、後期後半授業（第23回～28回）の全ての課題に合格することで4単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 がんと終末期のリアリティ</p> <p>第02回 ホスピス・緩和ケア</p> <p>第03回 チーム医療</p> <p>第04回 施設ホスピスと在宅ホスピス</p> <p>第05回 スピリチュアルケア（1）傾聴の基本</p> <p>第06回 スピリチュアルケア（2）スピリチュアルケアの基本</p> <p>第07回 医療倫理</p> <p>第08回 インフォームド・コンセント</p> <p>第09回 尊厳死・安楽死</p> <p>第10回 ALS・胃ろう</p> <p>第11回 告知</p> <p>第12回 告知ロールプレイ</p> <p>第13回 臨床倫理検討</p> <p>第14回 キューブラーロス</p> <p>第15回 宗教と医療</p> <p>第16回 チャプレン／臨床仏教師／臨床宗教師</p> <p>第17回 グリーフケア（1）</p> <p>第18回 グリーフケア（2）</p> <p>第19回 死生観（1）</p> <p>第20回 死生観（2）</p> <p>第21回 自死と自死に関する仏教者の取り組み</p> <p>第22回 超高齢社会と日本社会の今後</p> <p>第23回 ビハーラでの活動</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第24回 死の体験 第25回 論文発表(1) 第26回 論文発表(2) 第27回 論文発表(3) 第28回 論文発表(4)
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		ターミナルケア特論（SR）	
担当教員		小西 達也	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>ケアの基本は、ケア対象者を1人のかけがえのない人間として捉え、ケア対象者と全人格的に向き合うことにある。</p> <p>特にターミナルケアの現場では、その本質的な実践が求められる。本講では、そうしたケアの基本を徹底的に身につけると同時に、実際のターミナルケアの現場で直面する諸問題についての洞察を深め、ターミナルケア提供者に求められる総合的な能力の育成を目的とする。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリングとレポート併せて4単位を修得します。スクーリングは本学で開催される集中講義の前半を受講し、中間試験に合格することで2単位を修得し、その上で、レポート課題として2つのレポートを提出、合格した上で、単位認定申請レポートを提出、合格することで2単位を修得します。</p> <p>「ターミナルケア特論」は大学院科目です。それゆえ基本的知識や技術の習得以上の、より専門的・主体的学びを前提とします。本スクーリング・レポートは、仏教学研究科学生の履修を視野に入れてデザインされたものです。レポート課題は第1回、第2回の課題ともに各々2つのテーマから構成されます。第1回課題は、「ターミナルケア力の向上」を主眼としています。まずテーマ1として「ケア提供者自身の死生観」を、テーマ2として「スピリチュアルケア」を取り上げます。この両テーマについては、スクーリング前半授業の中で取り上げるので、そこでの学びが本課題を行う上での基盤となります。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的
備考	

科目名	特定課題研究演習（人間__人間）	
担当教員	一ノ瀬 正樹・小西 啓史・佐藤 裕之・西本 照真・野口 普子・日野 慧運・丸井 浩	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>「特定課題研究演習」は、指定された課題に基づいて特定課題研究論文を執筆する科目です。</p> <p>必修科目なので、この科目の単位を取得しなければ、大学院を修了することはできません。</p> <p>一般的に大学院では修士論文の執筆が必修になっていますが、本学の人間社会研究科では、修士論文に相当するものが特定課題研究論文になります。</p> <p>「人間社会研究科」という研究科名が示しているように、研究対象は人間です。人間を研究する場合、さまざまな学問分野（哲学、宗教学、心理学、生物学、社会学、経済学など）からのアプローチが可能です。しかし、近代以降、それぞれの学問分野からの個別のアプローチでは人間を理解することはできないという反省から、学問分野を横断し、総合的に人間にアプローチする「人間学」の必要性が求められます。最近では「総合人間学」という言い方もされています。</p> <p>人間社会研究科 人間学専攻も、このようなアプローチによって人間を研究することを目的にしています。しかし、人間学が総合的に人間にアプローチするものであっても、「人間学」あるいは「人間論」というタイトルがついた書籍や論文を読めば分かるように、そのテーマは多岐にわたり、方向性や問題意識も異なります。</p> <p>従って、本学の人間社会研究科では、方向性や問題意識を明確にするために、修士論文ではなく、指定した課題に基づく特定課題研究論文にしました。</p> <p>研究には独創性が求められることがあります。しかし、研究において最も重要なのは 独創的な 結論そのものではなく、</p> <p>どのような方法と手続きによってその結論を導き出したのかという研究方法になります。</p> <p>どんなに独創的な結論であっても、いい加減な研究方法によって導かれたものであるなら、それは研究による結果ではなく、ただの思いつきにしか過ぎません。</p> <p>以上の点から、特定課題研究論文では、あえて独創的な結論は求めずに、確実な研究方法を求めます。</p> <p>「特定課題研究演習」という科目の目的は、研究とはどのようなものであり、どのような方法で進めるのかという、研究能力を身に付けることです。</p> <p>研究能力を身に付けることができれば、大学院修了後、関心のあるテーマを各自で研究することができます。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	授業計画に記載の内容を行い、合格することで4単位を修得します。 〈研究スケジュール〉	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	(2020年) 11月30日まで 12月中旬 12月25日12:00正午まで 教員を通知された者のみ) (2021年) 1月5日12:00正午まで 1月中旬 1月19日12:00正午まで 2月11日まで 含む) 2月中旬 3月～5月 8月10日まで 9月下旬か10月上旬 12月10日まで (2022年) 1月10日まで 1月下旬か2月上旬 2月上旬 8月10日まで 8月下旬か9月上旬 9月中旬	「研究計画書」提出 指導教員通知または再提出通知 「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出（*指導 教員を通知された者のみ） 「研究計画書」再提出（*該当者のみ） 指導教員通知（*「研究計画書」再提出者のみ） 「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出 （*「研究計画書」再提出者のみ） 指導教員決定通知（「指導教員変更願」の結果通知を 含む） 履修登録 第1回面接指導*第2回目以降の面接指導は、指導教 員と履修生が相談して回数と時期を決定します。 「研究経過確認申請・中間発表」提出 中間発表（希望者のみ） 「清書論文提出許可願」提出 「清書論文」/「清書論文提出届」提出 公聴会・口述試問 成績通知 「清書論文」提出（*半年繰り上げ希望者のみ）/「清 書論文提出届」提出（*半年繰り上げ希望者のみ） 公聴会・口述試問（*半年繰り上げ希望者のみ） 成績通知（*半年繰り上げ希望者のみ）
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	特定課題研究演習（仏教_仏教）
担当教員	石上 和敬・遠藤 祐介・碧海 寿広・長尾 重輝・新作 慶明・前田 壽雄
授業方法	講義
科目の概要	<p>「特定課題研究演習」は、指定された課題に基づいて特定課題研究論文を執筆する科目です。</p> <p>必修科目なので、この科目の単位を取得しなければ、大学院を修了することはできません。</p> <p>一般的に大学院では修士論文の執筆が必修になっていますが、本学の仏教学研究科仏教学専攻では、修士論文に相当するものが特定課題研究論文になります。</p> <p>「仏教学」はその研究対象とする時代、地域、そして研究領域（たとえば思想・文化的側面、歴史的側面、儀礼的側面、社会的側面等々）、及び、研究者の問題意識も多岐にわたるため、本研究科では、研究の方向性や問題意識を明確にするためにも、修士論文ではなく、指定した課題に基づく特定課題研究論文にしています。</p> <p>次に、特定課題研究演習を履修するための基本的な留意点について触れておきます。</p> <p>研究においては独創性というものが強く意識されることがあります。しかし、研究において最も重要なのは独創的な結論そのものではなく、どのような方法と手続きによってその結論を導き出したのかという研究方法になります。</p> <p>どんなに独創的な結論であっても、杜撰な研究方法によって導き出されたものであるなら、それは研究による成果ではなく、ただの思いつきに過ぎないと批判されることもあるでしょう。</p> <p>以上の点から、特定課題研究論文では、あえて独創的な結論は求めずに、確実な研究方法を求めます。</p> <p>「特定課題研究演習」という科目の目的は、研究とはどのようなものであり、どのような方法で進めるのかという、研究遂行能力を身に付けることです。</p> <p>研究 遂行 能力を身に付けることができれば、大学院修了後、関心のあるテーマを各自で研究することができます。</p>
	テキストの概要
授業計画	<p>授業計画に記載の内容を行い、合格することで4単位を修得します。</p> <p><研究スケジュール></p> <p>(2020年)</p> <p>11月30日まで 「研究計画書」提出</p> <p>12月中旬 指導教員通知または再提出通知</p> <p>12月25日12:00正午まで 「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出 （*指導教員を通知された者のみ）</p> <p>(2021年)</p> <p>1月5日12:00正午まで 「研究計画書」再提出（*該当者のみ）</p> <p>1月中旬 指導教員通知 （*「研究計画書」再提出者のみ）</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	1月19日 12:00 正午まで 2月11日まで 2月中旬 4月～5月 7月～8月 8月10日まで 10月～11月 12月10日まで 12月～1月 (2022年) 1月10日まで 1月下旬か2月上旬 2月上旬 *第2回目以降の面接指導は、指導教員と履修生が相談して回数と時期を決定します。	「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出 (*「研究計画書」再提出者のみ) 指導教員決定通知(「指導教員変更願」の結果通知を含む) 履修登録 第1回面接指導 第2回面接指導 「研究経過確認申請」提出 第3回面接指導 「清書論文提出許可願」提出 第4回面接指導 「清書論文」提出/「清書論文提出届」提出 公聴会・口述試問 成績通知
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		環境アジェンダ研究	
担当教員		一方井 誠治	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀の人類の行動計画として1992年に採択された「アジェンダ21」の意義が意味する現代の環境問題の広がりとその対応の方向について理解すること ・持続可能な発展の内容について、改めて理解を深めること ・日本の社会経済が持続可能な発展の経路に向かっているかどうかを改めて検討し、「環境アジェンダ」の持つ現代的意味を再考すること 	
	テキストの概要	タイトル：『環境アジェンダ研究』 市販名：加藤尚武、「新環境倫理学のすすめ」、丸善ライブラリー、2005年 環境庁・外務省（監訳）、「アジェンダ21実施計画」、エネルギージャーナル社、1997年	
授業計画		本科目は、レポート科目です。4つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。 <自宅学習> 加藤尚武、「新環境倫理学のすすめ」、丸善ライブラリー、2005年 環境庁・外務省（監訳）、「アジェンダ21実施計画」、エネルギージャーナル社、1997年 1. グリーン・エコノミーへの世界的動き 2. 日本における「グリーン経済」への模索 3. 日本における「グリーン・エコノミー」の成果 4. 気候変動政策から見たグリーン・エコノミーへの日本の課題	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		持続可能な発展研究 1	
担当教員		一方井 誠治	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境問題から地球規模の環境問題に、さらには社会、経済問題とも密接にかかわる持続可能な発展問題へと広がった現代の環境問題の歴史を理解すること ・持続可能な発展の内容について学び、自分なりの理解を深めること ・日本を含めた現代社会が、持続可能な発展をとげるためには、今後どのような対応が必要かということについての自分なりの考えを持てるようにすること。 	
	テキストの概要	<p>上記科目概要の①については、本スタディーガイドの<補助テキスト>に掲載した、一方井執筆の二つの論文（「真のグリーンエコノミーに向けて」、「成長パラダイムから持続可能性パラダイムへの転換に向けた現代の課題」）を参照してください。</p> <p>上記②については、ヨルゲンランダース 「2052 今後 40 年のグローバル予測」 日経 BP 社 2013 年、を参照してください（大学より現物を支給）</p> <p>上記③については、ケイト・ラワース「ドーナツ経済学が世界を救う」 河出書房新社 2018 年、を参照してください（本テキストの概要は「補助テキストその 2」で紹介していますが、より興味のある履修者は、各自での購入をお願いいたします。）</p>	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。4つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1課題（出題範囲：本スタディーガイドに掲載した「補助テキスト」の二つの文献）</p> <p>第2課題（出題範囲：ヨルゲン・ランダース、2052 今後 40 年のグローバル予測）</p> <p>単位認定申請レポート課題</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的
備考	

科目名		環境経営論	
担当教員		白鳥 和彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>今日における環境経営は、公害対策から廃棄物対策、さらに温室効果ガスの削減や生物多様性保全など幅広い対応が求められています。また、それが同時に企業の持続可能な発展につながることを求められています。そのような観点から本講座では、日本の環境経営の現状と今後の課題について具体的な事例の分析を通じ理解を深めることとしたいと思います。もとより、気候変動問題への対応など、は、国や地方の政策により企業が置かれる状況が変わる場合もあり、環境経営を考える際には、それらの政策や国際的な状況を併せて理解し判断をしていくことが必要です。</p> <p>本科目における最終的な到達目標は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営を考える際に必要な基本的な諸要素を理解すること ・日本の環境経営の現状と課題について理解すること ・環境経営の今後の在り方について、自分なりの考え方や視点を持ち説明できるようにすること 	
	テキストの概要	<p>タイトル：『環境経営論 環境対策研究』 市販名：一方井誠治著「低炭素化時代の日本の選択—環境経済政策と企業経営」、岩波書店、2008年</p> <p>タイトル：『環境経営論』 市販名：谷達雄著「環境経営入門」、秀和システム、2012年、</p> <p>タイトル：『環境経営論』 市販名：寺西俊一・石田信隆・山下英俊（編著）、「ドイツに学ぶ地域からのエネルギー転換」、家の光協会、2013年</p>	
授業計画	<p>本科目は、レポート科目です。4つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで4単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1課題（出題範囲：「低炭素化時代の日本の選択、第2章」、及び「環境経営入門、第1章～第4章」）</p> <p>第2課題（出題範囲：「ドイツに学ぶ地域からのエネルギー転換」）</p> <p>単位認定申請レポート課題（WB TのNo.5 区分「単位認定試験」に提出）</p>		
成績評価の方法	単位認定試験		
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（白鳥 和彦先生 職歴） 積水化学工業（株）住宅技術研究所・環境経営部・CSR部 産業環境管理協会 地域・産業支援部門	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	製造業で環境領域の研究開発から環境経営・CSR経営の施策立案・推進など企業実務の経験から得た知見を基に指導を行う。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	環境学演習
担当教員	白鳥 和彦・武山 尚道
授業方法	講義
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">科目の概要</p>	<p>到達目標は、環境問題の主要なトピックに関する自分自身の考えを、レポートの作成演習やスクーリングでの討論を通じて、人に伝えることができる段階まで到達することを目指します。さらに細目の到達目標として、</p> <p>スクーリング授業における到達目標は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 研究者として身につけるべき論文作成技術と研究者倫理を身につける ② 個別的环境テーマに入る前の環境問題を俯瞰する網羅的知識を身につける ③ 多面的視点からのディスカッションができるようになる <p>ことを目指します。</p> <p>さらに、レポート授業における到達目標は、テキストなどを自身で学び、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 環境問題の全体像を把握する。 ② また、環境問題の各トピックを十分に読み込み、今日の環境問題の実相とそれに対する各種の政策・対策を、歴史的な背景とともに理解する。 ③ そして、環境問題の本質と政策・対策の背後にある考え方について考察し、自分自身の見解や主張をもつ。 ④ さらに、自分自身の見解・主張を文章やレポート、論文あるいは討論によって伝える力（コミュニケーション能力）を養う。 <p>ことを期待します。</p> <p>本学大学院のディプロマ・ポリシーと本授業の到達目標との関係は； 企業社会・地域社会における環境課題を発見する知識・能力→基礎的科目 となります。</p> <p>大学院の専門科目は、制度論的、手続き論的、技術論的なことを学び、それを社会の中で応用する力を養うことが中心になります。しかし、それだけでは単なるテククラートにしかたれません。環境白書等の報告書に書いてあるのは基本的な事柄ですが、よく理解しようとするほど、深い問題が横たわっていることがわかってきます。そこで述べられている環境問題や政策・対策などについて理解を深め、また多面的に解釈する過程で、環境に対する自分自身の視座というものを構築してもらいたいと考えています。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">テキストの概要</p>	<p>環境白書</p> <p>「環境白書」は国（環境省）が毎年作例し、閣議決定の上で国会に提出され、一般に公表されているものです。環境問題に関する全般的な状況とそれに対する総合的な施策、および環境問題の各分野に関する現状・課題とそれに対応する施策の動向、および最近時点における実施施策の解説から構成されています。</p> <p>「環境白書」は、現在は「（狭い意味での）環境白書」、「循環型社会白書」、「生物多様性白書」の3本建てとなっていますが、これはこれらの各白書が拠って立つ法律（国会に年次報告を求める法律の条文）がそれぞれ異なることが理由です。ただし、この3つに関する「状況の報告」や「施策の動向」は一冊の中に分散しておさめられています。以下では、全体をまとめて「環境白書」と呼ぶこととします。</p>

		<p>テキスト（資料集）</p> <p>環境学演習は環境問題の全体を学ぶとともに、環境問題の本質に迫ることができる力を養うことを目的としています。環境白書と併用するテキスト（資料集）は、環境白書を活用して環境問題を総合的に学ぶにあたり、大学院生として知っておいてもらいたいこと、そして白書を読みながら考えてもらいたいことを、限られた紙幅の中で記述したものです。テキストは次の4章からなります。白書が扱っているテーマの多くの部分はこの4つの章のどこかに入ります。レポート作成のテーマはこの4つの章のいずれかから出すこととなります。</p> <p>第1章 環境問題と環境政策 第2章 持続可能な社会 第3章 気候変動と環境政策 第4章 さまざまな環境問題</p>						
<p>授業計画</p>		<p>本科目は、スクーリングとレポートとを合わせて4単位を修得します。スクーリングは、本学で開講される原則100分の講義を28回受講し、試験（提出物およびプレゼンテーション）に合格することで2単位を修得し、レポートは、2つのレポートを提出して合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回～第06回 論文作法／研究者倫理 第07回～第12回 環境問題の基礎 第13回～第24回 環境政策の動向と研究的課題 第25回～第28回 現在の社会動向と研究的課題の探索</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 環境問題と環境政策 第2章 持続可能な社会 第3章 気候変動と環境政策 第4章 さまざまな環境問題</p>						
<p>成績評価の方法</p>		<p>単位認定試験</p>						
<p>実践的教育を行う授業科目の種別</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 1525 1353 1606"> <p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p> </td> <td data-bbox="1353 1525 1544 1606"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1606 724 1991"> <p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p> </td> <td data-bbox="724 1606 1544 1991"> <p>(白鳥 和彦先生 職歴) 積水化学工業(株) 住宅技術研究所・環境経営部・CSR部 産業環境管理協会 地域・産業支援部門 (武山 尚道先生 職歴) 石川島播磨重工(株) 海外事業本部員 (株) 社会工学研究所、(株) 日本総合研究所 神奈川県庁政策局</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1991 724 2130"> <p>授業内容との関連性</p> </td> <td data-bbox="724 1991 1544 2130"> <p>・製造業で環境領域の研究開発から環境経営・CSR経営の施策立案・推進など企業実務の経験から得た知見を基に指導を行う。</p> </td> </tr> </table>	<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>	<p>○</p>	<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>	<p>(白鳥 和彦先生 職歴) 積水化学工業(株) 住宅技術研究所・環境経営部・CSR部 産業環境管理協会 地域・産業支援部門 (武山 尚道先生 職歴) 石川島播磨重工(株) 海外事業本部員 (株) 社会工学研究所、(株) 日本総合研究所 神奈川県庁政策局</p>	<p>授業内容との関連性</p>	<p>・製造業で環境領域の研究開発から環境経営・CSR経営の施策立案・推進など企業実務の経験から得た知見を基に指導を行う。</p>
<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>	<p>○</p>							
<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>	<p>(白鳥 和彦先生 職歴) 積水化学工業(株) 住宅技術研究所・環境経営部・CSR部 産業環境管理協会 地域・産業支援部門 (武山 尚道先生 職歴) 石川島播磨重工(株) 海外事業本部員 (株) 社会工学研究所、(株) 日本総合研究所 神奈川県庁政策局</p>							
<p>授業内容との関連性</p>	<p>・製造業で環境領域の研究開発から環境経営・CSR経営の施策立案・推進など企業実務の経験から得た知見を基に指導を行う。</p>							

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

		<p>・環境に関するさまざまな分野やテーマに関する調査研究やコンサルティング、あるいは自治体政策の実践の経験を活かした指導を行う。</p> <p>特に、循環型社会づくりに向けた各種の政策、公害・廃棄物問題、資源・エネルギー問題、環境と途上国問題、気候変動などについては具体的な事例を扱った経験を講義録やスクーリング内容に活かす。</p>
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		緑地環境計画論	
担当教員		伊尾木 慶子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目は、自然風土と人間活動によって形成される緑地生態系とランドスケープを理解するための基礎的能力を養成し、そのモニタリングや保全、創造、維持管理について理解することで、緑地保全の専門的能力やその実践にかかわる問題解決能力を養成することを目的とする。</p> <p>健全な生態系保全に寄与する都市緑化や都市での緑地計画の総合的な展開事例の基礎的理解を通じて、履修後には環境創成と環境保全に関わる緑地計画の提案ができるようになることを到達目標とする。</p> <p>最終的な目標として、受講者が自ら関心をもった都市の緑地生態系への理解を通して、現代社会の諸問題を検討していく視座を獲得し、実践的に独自なものを提案できるような思索を深めていくことを期待します。</p>	
	テキストの概要	<p>鈴木伸一、宮崎忠國 編著；内田均、竹内将俊、入江彰昭、神藤正人 共著；小林章 監修</p> <p>『環境緑地学入門—理論と実際—』（コロナ社、2010年）</p>	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポート（2つの課題に対してそれぞれ1つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>1章 環境緑地学へのいざない</p> <p>2章 地球環境と緑地</p> <p>3章 植生と環境</p> <p>4章 ヒートアイランドと緑地</p> <p>5章 緑地の保全</p> <p>6章 緑地を構成する動物の生態・保全</p> <p>7章 フィールド調査</p> <p>8章 緑地の創造</p> <p>9章 緑地施設的设计・施工</p> <p>10章 緑地の施工・管理</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		都市環境心理学	
担当教員		立川 公子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>主要な学術ジャーナルや研究図書等から精選した人間-環境系を主題とした研究論文に対する批判的なレビューを端緒とした考察を通して、環境心理学および関連する学問ディスプレイによるアプローチを理解するとともに、環境心理学の可能性と限界を把握します。さらに、ゲーテッド・コミュニティ、シェアハウス、持続可能な開発のための教育(ESD: Education for Sustainable Development)、ぼっち席、ノマドワーカー、ヘイトスピーチ、フィジカル空間(サイバー空間とリアル空間が融合した新しい空間)などの同時代的なトピックスに関しても、環境心理学の知見からトランスフォーマティブに研究が応用できるだけの知見の獲得をめざします。</p>	
	テキストの概要	村松陸雄編『資料集(都市環境心理学)』武蔵野大学大学院通信教育部。	
授業計画		<p>2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 住居の環境心理学 第2章 都市の環境心理学 第3章 自然の環境心理学 第4章 限りある資源の管理</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験(経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		都市環境心理学（S）	
担当教員		立川 公子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>主要な学術ジャーナルや研究図書等から精選した人間－環境系を主題とした研究論文に対する批判的なレビューを端緒とした考察を通して、環境心理学および関連する学問ディスプリンによるアプローチを理解するとともに、環境心理学の可能性と限界を把握します。さらに、ゲーテッド・コミュニティ、シェアハウス、持続可能な開発のための教育（ESD：Education for Sustainable Development）、ぼっち席、ノマドワーカー、ヘイトスピーチ、フィジカル空間（サイバー空間とリアル空間が融合した新しい空間）などの同時代的なトピックスに関しても、環境心理学の知見からトランスフォーマティブに研究が応用できるだけの知見の獲得をめざします。</p>	
	テキストの概要	羽生和紀（2008）. 環境心理学－人間と環境の調和のために サイエンス社	
授業計画		<p>本学で毎週開催される原則100分の講義を14コマ受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 自己紹介、授業ガイダンス</p> <p>第02回 基本文献の輪読：第1章</p> <p>第03回 基本文献の輪読：第2章</p> <p>第04回 基本文献の輪読：第3章</p> <p>第05回 基本文献の輪読：第4章</p> <p>第06回 グループワーク①</p> <p>第07回 基本文献の輪読：第5章</p> <p>第08回 基本文献の輪読：第6章</p> <p>第09回 基本文献の輪読：第7章</p> <p>第10回 グループワーク②</p> <p>第11回 基本文献の輪読：第8章</p> <p>第12回 基本文献の輪読：第9章</p> <p>第13回 基本文献の輪読：第10章</p> <p>第14回 グループワーク③</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		地域環境政策論	
担当教員		一方井 誠治	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方環境政策の成立過程や発展の状況を理解すること ・ 地方環境政策と国の環境政策との関係と、地方環境政策の役割を理解すること ・ 地方環境政策の課題を理解すること ・ 地元の環境問題に気付くこと ・ 世界の地方環境政策に目を向け、そこから学ぶこと 	
	テキストの概要	一方井誠治（編著）「テキスト 地域環境政策論テキスト」（武蔵野大学大学院通信教育部、2014年）	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目のレポート テキスト全体を通読し、最も興味を持ったテーマを一つ取り上げて、その内容を要約するとともに、新たな調査研究内容を付け加え、併せて自分なりにそのテーマに関する現代的な課題とその解決策の方向について論じなさい。 ・ 2回目のレポート 第1回レポートの添削内容を参考にして、書き直しなさい（具体的には、添削で指示する。） ・ 単位認定申請レポート課題 学習者自身が住む（あるいはゆかりのある）地域における具体的な環境問題についてとりあげ、それが地方環境政策としてどのように対処されているか、もし、それが十分なものではない場合、どこに問題があるのか、住民としてはどのような行動をとるべきかなどについて、本講座の学習を踏まえ、自分なりに考えた内容について述べなさい。 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		環境コミュニケーション論	
担当教員		栗林 敦子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	企業や地域社会における環境マネジメントの実践を円滑に進めるためには、環境の人的側面を十分に理解し、その状況に応じたアプローチが必要となります。本授業では、そのアプローチの1つである「環境コミュニケーション」の意義と手法を学び、既存の環境コミュニケーションの事例の分析を通じて、自らが抱えるテーマに環境コミュニケーション手法の適用をするための能力を身につけることを目的とします。	
	テキストの概要	栗林敦子編『資料集（環境コミュニケーション論）』武蔵野大学大学院通信教育部	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートの評価と合わせて合格点を得ることで、2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章:コミュニケーションの本質を理解しつつ、環境コミュニケーションの一般的な動向を知るとともに、日常的な環境コミュニケーションを振り返ります。</p> <p>第2章:コミュニケーションが人々の環境意識や環境行動にどのような影響を与えうるのか受けうるのか、逆に環境意識が高く、環境行動をよく行う人のコミュニケーション特性はどのようなものかを理解します。また、マスメディアの中に現れる「環境」が、社会にどのような影響を与えているかを理解します。その上で、環境コミュニケーションをリスク・コミュニケーションの一つとして捉え、「リテラシー」の重要性を理解し、環境コミュニケーションへの展開を考えます。</p> <p>第3章:環境コミュニケーションを「ソーシャル・マーケティング」の1手法として考え、環境コミュニケーション・キャンペーンの企画例を見ながら環境コミュニケーションのPDCAサイクルを理解します。</p> <p>第4章:環境コミュニケーションを、企業経済価値、社会価値、その他に分類しそのツールを知り、自己学習として事例の検索とその評価を行い、望ましいツールの活用方法を学びます。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		システム・ダイナミクス論	
担当教員		田辺 直行	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	到達目標は、(1) 環境をシステムとして捉え、フィードバック構造を表現した「ループ図」による理解の仕方を習得すること、(2) そのフィードバック構造によって、システムの振舞いを定性的、あるいは定量的に解析することができるようになることである。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>テキスト [1] でシステムの基本的な概念や考え方を習得し、テキスト [2] で環境や社会の課題をシステムとしてとらえて分析する方法を具体例を使って学びます。最後には、受講生の興味のある問題に対して、これらの手法を使って分析することにより、その問題に対する対策を提案していただきたいと考えています。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b : 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		C S R 論	
担当教員		杉浦 正吾	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	地球環境問題の社会的特異性と、C S R 活動における「環境」分野を理解し、その上で C S R の全体像と問題点を整理します。C S R ビジョン策定から戦術・アクションまで事例を通じてそのプランニングを把握したうえで、近年の企業サイドにおける、環境的・社会的側面を中心とした C S R 活動をリサーチし、消費生活者サイドの「信頼」や「新しい価値観（主として地球温暖化を中心とした環境問題に起因するソーシャルニーズなど）」に 대응するという視点からの、いわゆる C S V 的な「環境/C S R 活動マネジメント」を提案・実践できる知見のベースづくりを目標とします。	
	テキストの概要	「サステナビリティと本質的 C S R ～環境配慮型社会に向けて～」 後藤敏彦／藪田綾子 三和書籍 3000 円（本体+税）	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1課題（出題範囲：序章～第4章、第9章・10章） 社会課題と C S R の関係性やその歴史的背景・潮流を、世界日本の両視点からアプローチします。 ・第2課題（出題範囲：第5章・6章、企業の C S R 活動） 具体的な C S R プランニングおよびマネジメント、およびレポートを中心にコミュニケーションについて学びます。 ・単位認定申請レポート課題 第2課題でとりあげた企業から1社を選び、第1課題の意見もまじえて、あなたの考える「提言、未来に向けた●●社の C S R 活動」を論じます。 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	環境マネジメントシステム論	
担当教員	白鳥 和彦	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目は、環境マネジメントシステムを組織のマネジメントシステムの一つとして捉え、環境マネジメントシステムを組織経営に有効に活用する視点を育てることを狙いとされています。</p> <p>環境マネジメントシステム（EMS：Environmental management systems）は、ISO14001 規格が制定された 1996 年以降、多くの組織が認証登録しています。一方、ISO14001 を基に認証登録対象を限定、規格の要求事項を対象組織に分かりやすくするなどの工夫をした環境マネジメントシステムが考案され、それぞれが特徴ある認証登録の仕組みを構築運用しています。いずれの環境マネジメントシステムにおいても、ISO14001 が基礎としている PDCA（Plan-Do-Check-Act）サイクルによる環境パフォーマンスの改善が柱となっています。</p> <p>ISO14001 は、従来の基本原則を維持しつつ「組織をとりまく環境課題の変化」及び「ISO マネジメントシステム規格の共通化」に対応し 2015 年に大幅に改訂されました。</p> <p>講師は ISO14001 認証取得に向けての事務局、運用事務局、ISO14001 審査員、EA21 審査人の経験があります。更に、小さな会社の経営もしています。環境マネジメントシステムのおぼろげな全貌を感じ取れたのは認証取得後で、PDCA サイクルを 1 回まわした後です。また、会社を興し初年度の会計を終了後に何となく会社の経営について理解を少し深めました。これらの経験から、環境マネジメントシステムを経営的視点から理解するためには、座学ではなく経験が必要であると考えています。</p> <p>本科目では、改訂された ISO14001（JIS Q 14001:2015）をもとに作成したテキストを参考にし、受講生が設定した仮想組織の ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムを経営者の立場になって、構築、運用し、PDCA サイクルを 1 回経験します。この経験を踏まえ、経営的な観点で環境マネジメントシステムを活用することの利点を受講生が理解することを期待しています。</p> <p>仮想会社の設定ですので、楽しく大胆な取り組みを期待します。受講生は仮想会社の社長であることを忘れないで下さい。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>①「想定会社の環境マネジメントシステム計画段階（Plan）」に関する以下の項目のレポートを作成。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 想定会社の設定と EMS 運用体制の設定 2. 想定組織の状況把握 3. 想定組織の環境方針の制定 	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	<p>4. 想定組織の環境側面、環境影響評価及び著しい環境側面の特定</p> <p>5. 「リスク及び機会」の特定</p> <p>6. 順守義務の特定</p> <p>7. 全社環境目標の設定</p> <p>8. 実施計画書の策定</p> <p>②「想定会社の環境マネジメントシステムの支援及び運用（Do）、パフォーマンス評価（Check）、改善（Act）段階」に関する以下の項目のレポートを作成</p> <p>1. 力量が必要な業務の教育訓練計画の策定、実施</p> <p>2. コミュニケーションプロセスの確立、実施</p> <p>3. 運用プロセスの策定</p> <p>4. 緊急事態への対応</p> <p>5. 環境パフォーマンスの監視、測定、分析、評価</p> <p>6. 順守評価</p> <p>7. 内部監査の実施</p> <p>8. マネジメントレビューの実施</p> <p>9. 改善</p> <p>③単位認定試験</p> <p>①, ②の添削結果をまとめて提出</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(白鳥 和彦先生 職歴) 積水化学工業(株) 住宅技術研究所・環境経営部・CSR部 産業環境管理協会 地域・産業支援部門
	授業内容との関連性	製造業で環境領域の研究開発から環境経営・CSR経営の施策立案・推進など企業実務の経験から得た知見を基に指導を行う。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名		環境対策研究	
担当教員		高橋 和枝	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目は様々な環境問題に対して効果的な環境対策をどのように行っていけばよいのかについて学んでいきます。</p> <p>具体的な環境問題として最も重要で、対策が急がれている気候変動対策について最新の情報、日本の取組みについて理解します。気候変動対策に関する諸事項についての理解を前提として後半は環境省、経済産業省の関連ホームページ等から自分が興味ある特定環境対策事例を三つ選択し、調査研究を行います。気候変動対策のみならず種々の環境問題について効果的な環境対策はどうあるべきかについて理解を深めます。</p> <p>本授業の目標は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の環境問題を取り上げ、その対策について深く理解すること ・環境対策に関する、技術面、費用面、規制面、取組主体等の多面的な要素を理解すること ・環境対策を行う際の重要事項を会得すること <p>最終的な目標は、環境対策に関するパブリックコメントで自らの考えを述べることができるレベルになることです。</p>	
	テキストの概要	<p>一方井誠治著 『低炭素化時代の日本の選択』 岩波書店、2008年 I S B N 978-4-00-024026-0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IPCC 第5次評価報告書 第1作業部会報告書 政策決定者向け要約 主なメッセージ (http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/ar5/#spm) ・国土交通省 気象庁の IPCC 第5次評価報告書統合報告書政策決定者向け要約等の資料 (http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/ar5/index.html) 等の IPCC に関する最新資料を参照してください 	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策 ・特定環境対策事例研究 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		持続可能な発展研究 2	
担当教員		磯部 孝行	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本授業での到達目標は、特定の分野において資源循環の考え方にに基づき、材料の代替、省資源化、リサイクルなど資源を有効活用する方策を考え提案することができ能力を身に付けることを目標としています。具体的には、以下の3点を到達目標としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題、主として資源循環を考える上での基本原則、原理を理解する。 ・持続可能な概念などを理解した上で、特定の分野における資源循環の在り方を思考することができる。 ・特定の分野において、多様な視点から資源を有効活用するための方策を提案できる。 	
	テキストの概要	<p>オリジナルの資料集（担当教員：磯部孝行が編集） ※適宜、授業内容に合わせて追加の参考資料を配布。</p>	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 資源循環の法制度の概要とリサイクル 第2章 リサイクルの実践：建築分野における資源循環 第3章 持続可能な社会実現に向けた新たな概念</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		ライフサイクルアセスメント論
担当教員		高橋 和枝
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目は、国際的に標準化されている環境負荷、環境影響の定量的評価手法であるライフサイクルアセスメント (LCA)について学んでいきます。ライフサイクルアセスメントの基本となるライフサイクル思考とは単に目の前にあるモノやサービスについて考えるだけではなく、製造から廃棄までのライフサイクルで考えることです。例えば皆さんのパソコンは、電気エネルギーを消費することでその機能を発現することができます。しかしパソコンの環境負荷とは、単に電気エネルギーを消費することだけでしょうか？そのパソコンが皆さんの手元に届くまでにはトラックでの輸送があり、ガソリンなどのエネルギーを消費しています。また製造段階では多数の金属資源材が必要ですが、その多くは海外で採掘され、素材として日本に輸入されたものです。そして廃棄する時にも環境への排出があります。このように見えていない環境影響にも配慮することにより、真の意味での環境配慮ができると言えます。そこで、LCAは、製品の環境価値を測るだけではなく、近年では、企業など組織の環境施策の決定にも活用されています。このように様々なシーンで期待されているLCAですが、実際に実施するためにはいくつかの手順を学び、また、使用するデータベースの選び方やデータの集め方などを知ることが必要です。『改訂版 演習で学ぶLCA』をテキストとして使用します。テキストを各章毎に読み込んでいき、LCAの四つのフェーズである目的と調査範囲の設定、インベントリ分析、ライフサイクル影響評価、ライフサイクル解釈の意義と手順を理解していきます。またテキストのやかんのケーススタディーを自ら実施しながら、実践方法について理解していきます。</p> <p>後半にはLCA事例研究とし学会の論文誌から自分の興味のある研究論文を三つ選定し、テキストの勉強で得られたLCA手法の理解をもとに論文のレビューを行っていただきます。このことによりLCA専門家が具体的な物やサービスについてLCA調査をどのように実践しているか、そしてLCA研究の最新動向を理解します。</p> <p>本授業の到達目標は、ライフサイクルアセスメントを実際に行える能力を身につけることです。</p>
	テキストの概要	「改訂版 演習で学ぶLCA」稲葉敦編著、株式会社シーエーティー、ISBN978-4-9910127-0-9
授業計画	<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>テキスト第1章 環境問題の捉え方, 第2章 製品のライフサイクルとモノ作り, 第3章 LCAとは何か 第1回</p> <p>テキスト第4章 目的および調査範囲の設定 第2回</p> <p>テキスト第5章 インベントリ分析, 第6章 インベントリ分析の演習、第3~5回</p> <p>テキスト第7章~第8章 ライフサイクル影響評価 第6~8回</p> <p>テキスト第9章 配分、第10章 ライフサイクルのLCA 第9回</p>	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	テキスト第11章 解釈、第12章 LCAの国際規格 第10回 テキスト第13章 ライフサイクルコストとペイバックタイム 第11回 LCA事例研究 第12～14回 まとめ 第15回	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		環境会計論	
担当教員		白鳥 和彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業経営と環境問題の関係を知り、環境会計の役割を理解すること。 ・環境省の環境会計ガイドラインについて理解すること。 ・複数の先進的企業の環境報告書や CSR 報告書における具体的記載事例を収集し分析すること。 ・上記の分析等により、環境会計に関して一定レベルの専門的見解を持てること。 	
	テキストの概要	<p>國部 克彦, 伊坪 徳宏, 水口 剛 共著 『環境経営・会計』、有斐閣、2,100 円、ISBN 978-4-641-12311-3</p>	
授業計画		<p>本科目は、2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1課題 <p>本書の1章から12章までを通読し、その中で最も興味を引かれた章についてとりあげ、その理由を述べなさい。次いで、その章の要約を行ったうえで、疑問点や更に知りたい点を調査し、その結果について記述し、最後にその章のテーマについて自分なりの考えについて論じなさい。</p> ・第2課題 <p>調査の方向性や観点として、①概要、②特徴、③費用対効果や環境負荷対売上高等の環境効率指標の導入状況、④経年推移、⑤物量効果の貨幣額換算への留意、⑥製品・サービスの環境負荷低減効果、⑦その他独自の観点からの分析、⑧総評について考察しまとめること。</p> ・単位認定申請レポート課題 <p>第2課題レポートで調査分析した「企業の環境会計の取り組み事例」に加え、「企業のCSR会計の取り組み事例」を調査し、分析すること。事例の選定方法は第2課題と同様。同一業界での傾向分析および他業界間の比較分析を行い、自分なりの考えを加えて論じる。第2課題レポートにCSR会計に関する調査分析を追記編集する形で、考察を深めること。</p> 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>	<p>(白鳥 和彦先生 職歴) 積水化学工業(株) 住宅技術研究所・環境経営部・CSR部 産業環境管理協会 地域・産業支援部門</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	製造業で環境領域の研究開発から環境経営・CSR経営の施策立案・推進など企業実務の経験から得た知見を基に指導を行う。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		省資源・省エネルギー論	
担当教員		明石 修	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、代替エネルギーの技術や制度の動向について理解する ・日本における省エネやエネルギー代替の可能性について論じる能力を身につける ・具体的に事例において、エネルギー削減可能量やその経済性を検討する能力を身につける 	
	テキストの概要	日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット編 『図解 エネルギー・経済データの読み方入門』（一般財団法人省エネルギーセンター、2017年）	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>この資料集は、2050年までを対象としアメリカにおける化石燃料の使用削減の可能性を論じています。化石燃料の使用削減には、大きく2つの方法があります。エネルギー効率向上によるエネルギー消費量の削減と、再生可能エネルギーの導入によるエネルギーの代替です。この資料集では、運輸、建物、工業、発電の部門ごとに、上記2つの方法の可能性について具体的に検討を行っています。この資料集を通読することにより、省エネや代替エネルギーの可能性について、技術やコストの観点から理解することができます。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			
備考			

科目名		環境化学物質論	
担当教員		真名垣 聡	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目は、我々の生活に必需となっている化学物質の性質や環境での動態の理解と、化学物質規制や管理制度の最新動向の把握が主な内容です。そして、講義を受けることで最終的には化学製品に関連する専門的な改善策の立案、企画提案や改善提案を行う知識・能力の向上と、企業社会において専門的な知識・能力を実践できるようになることを目標とします。</p> <p>生活者の日常行動が環境問題に大きな影響を及ぼしている今日においては、利用する側の目線や気持ちで製品や技術の特性を考えることが重要となっています。例えば化学物質は身の回りの製品や技術に広く使われ、私たちが生活する上で欠かせないものですが、一方で安全性に関する社会問題が生じていることも事実です。安全で安心できる社会生活の実現のためには、化学物質のリスクを適切に管理、削減するとともに、生活者の理解を進める必要がありますが、ではどのような製品・技術を選択すべきなのでしょう？またその際にはどのようなことを考える必要があるのでしょうか？本科目はこれらの問いに少しでも答えることを目的とした講義を進めていきたいと考えています。</p> <p>具体的には、化学物質の有害性や危険性、測定手法と環境動態について講義をし、環境対策への理解と活用方法の能力を養います。さらにリスク評価やリスク管理をおこなうためのより適切な情報の入手方法、評価方法の習得を目指します。</p>	
	テキストの概要	真名垣 聡【編】「テキスト 環境化学物質論」（武蔵野大学大学院通信教育部、2014年）	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出し、チェックを受けた上で必要に応じて加筆・修正し再提出します。全てに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章・第2章 化学物質の使用と環境汚染の歴史 第3章 国内外における化学物質管理の概況</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		環境材料工学	
担当教員		高橋 和枝	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目は、持続可能な社会の実現をめざし、様々な材料について学んでいきます。材料を適切に使うためには、材料の基本的な特性を理解するとともに、材料と人、自然、社会との関わりについても理解することが必要です。金属、高分子、無機の各材料工学について、環境、社会、経済といった多角的な視点から学習します。</p> <p>本授業の目標は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な材料について性能と機能について学び、限りある資源を有効利用するために必要な基礎知識を習得する。 ・ 各種材料の劣化機構について理解すること ・ 持続可能な社会を実現するために必要な材料技術について理解を深めること <p>最終的な目標は、持続可能な社会を支える材料に求められる課題を理解し、課題解決型の材料技術について、提案できるようになることです。</p>	
	テキストの概要	<p>タイトル：『材料学の基礎』</p> <p>市販名：菱田博俊著、「わかりやすい材料学の基礎」、成山堂書店 2012 年 ISBN9784425690817</p>	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料の基礎 2. 社会を支える材料の基礎と課題 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的
備考	

科目名		環境デザイン論
担当教員		林田 和人
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>環境(空間やモノ)をデザインする場合、デザイナーの思い込みが先行し、使う側の人間に対する配慮が欠け、使いづらかったり、不安で危険な環境が作られることがあります。このようなことを回避するためには、人間の行動や心理の特性を把握し、それを十分に考慮して環境をデザインすることの重要性を知る必要があります。そこで、人と人、人とモノ、人と空間との場面における、人間の行動や心理の特性を伝え、皆さんが素敵な未来を描いてくれるための手助けをします。そして、知識をインプットするだけではなく、授業の内容、自分で観察したこと、自分の経験などを駆使し、新しい、自分にしかできないオリジナリティのあるモノや空間を発想します。人間の行動特性を生かした、自分にしかできないオリジナリティのある空間やモノを発想することを到達目標とします。また、立案したアイデアを人に理解してもらい、感動してもらうためには、わかりやすく説明することが必要です。文章ではなく、ダイアグラム(図)でわかりやすく表現するプレゼンテーションを作成することを到達目標とします。皆さんが能動的、積極的に授業に関わっていただけるよう、アクティブラーニングのスタイルで授業を進めます。</p>
	テキストの概要	<p>アクティブラーニングの授業スタイルで、皆さんにアイデアや調査したことについてのプレゼンテーションを作成してもらいます。</p> <p>テキストは特に使用しません。授業で使用する資料を、pdf で配布します。</p>
授業計画		<p>本科目の学習方法はスクーリングです。</p> <p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講【テーマ】講義「人体寸法とモノとの関係」</p> <p>第02講【テーマ】講義「関係を測ることを知る」</p> <p>第03講【テーマ】グループワーク「仮説を立てて実験を行い計測する」</p> <p>第04講【テーマ】グループワーク「人体寸法との関係からモノのアイデアを発想する」</p> <p>第05講【テーマ】講義「モノと人-アフォーダンス」、講義「人と人-パーソナルスペース」</p> <p>第06講【テーマ】グループワーク「アフォーダンスやパーソナルスペースに関する事例紹介」</p> <p>第07講【テーマ】個人ワーク「アフォーダンスやパーソナルスペースから空間やモノを発想する」</p> <p>第08講【テーマ】講義「群集流動と滞留の特性」、講義「空間と人-歩行特性と行動のモデル」</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 09 講【テーマ】グループワーク「仮説を立て、映像の群集を観察して行動特性を発見する」 第 10 講【テーマ】グループワーク「行動特性の発見」 第 11 講【テーマ】個人ワーク「行動特性からアイデアを発想する」 第 12 講【テーマ】講義「未来の技術、行動シミュレーション、私の研究紹介」 第 13 講【テーマ】個人ワーク「自分が思う、解決したい世の中の問題を考える」 第 14 講【テーマ】個人ワーク「自分が思う、解決したい世の中の問題を解決するアイデアを発想する」	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		環境配慮設計・プロセス論	
担当教員		鶴田 祥一郎	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	サステナブルな社会の実現に不可欠な「ものづくりと消費・サービスに関わる環境負荷の低減」を実現するために必要な環境配慮設計（エコデザイン）の考え方を理解することを目標とします。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>1. 環境配慮設計（エコデザイン）と各種手法</p> <p>2. 環境配慮設計（エコデザイン）事例と今後の在り方</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		地域活性化デザイン論	
担当教員		金子 和夫	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>わが国におけるエコプロダクツと地域活性化の現状や成功事例を学ぶために、地域社会を環境、生活、経済の総合的な体系としてとらえ、住民、企業、行政が協働で地域活性化デザインに取り組む理論と実践的なプログラムを習得する。</p> <p>①地域活性化の理論を習得する。 ②地域活性化の実践的なプログラムを習得する。 ③フィールドを設定して、現地調査実習の手法を習得する。 ④地域活性化デザインの企画書作成の技術を習得する。</p>	
	テキストの概要	<p>本科目はスクーリングだけの開講であるため、資料集は配布しません。スクーリング時に毎回、資料を配布して講義を行います。</p>	
授業計画		<p>本科目は、スクーリングだけの学習方法で開講されます。スクーリングは、本学で開催される集中講義（100分の講義を3日計8時限）と現地調査実習（100分の3時限、2日）を受講し、レポート試験に合格することで2単位を修得します。レポートは、特定地域の地域活性化事業計画を作成していただきます。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 理論編①「地域活性化デザインとは何か」 第02回 理論編②「多様な主体が参加した地域活性化デザインの戦略的な視点」 第03回 プログラム①「現状把握と巻き込み」 第04回 プログラム②「戦略策定」 第05回 プログラム③「実行」「評価と改善」「地域特性と連携する主体の違いによる留意点」 第06回 手法①地域活性化企画書の構成要素と作り方 第07回 手法②現地調査の方法 第08回 現地調査実習①「各種データや計画の収集」 第09回 現地調査実習②「関係者のヒアリング調査」 第10回 現地調査実習③「地域資源調査」 第11回 現地調査実習④「地域資源調査」 第12回 現地調査実習⑤「調査の取りまとめ」 第13回 成果発表①「地域活性化企画書の作成」 第14回 成果発表②「成果の発表と質疑」</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	資源循環・リサイクル論	
担当教員	白鳥 和彦	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>人間以外の生態系は共生並びに食物連鎖で資源循環に成立しており、廃棄物やリサイクルの概念はない。自然の変化に対応できる生物だけが生き残っている。人類にとって必要な資源とは何か、資源を用い持続可能な社会を維持するためにどのような社会システムが必要かについて、自分なりの考えを持つことを目的とする。</p> <p>第1ステップとして、資源とは何かについて考える。資源は固定的なものではなく、常に変化しているので、宇宙誕生から現在までの歴史を振り返ることから始める。生物の活動が地球環境の変化に大きく影響を及ぼし、地球環境変化が生物の進化に影響を及ぼしている。生物は地球の環境に対して常に受け身の立場ではなく、相互に影響を及ぼし合っている。</p> <p>第2ステップとして、現在の天然資源の状況を事例で紹介した。</p> <p>第3ステップとして、日本における資源循環、リサイクル、廃棄物の状況を環境白書などでのデータで示すとともに、循環型社会形成に向けた法体系とリサイクルの個別法の概要を示した。廃棄物の適正処理、リサイクル推進を規定している廃棄物処理法の概要を説明した。</p> <p>第4ステップとして、生物界での共生と循環の事例を示した。生物の活動、変化は非常にダイナミックに行われ、何回もの大絶滅を乗り越え、多様化している。</p> <p>第5ステップとして、現在の人類の活動が自然界、生物界へ影響を及ぼしている事例で示した。</p> <p>最後のステップとして、人類の持続可能な社会形成に向けての提言である「成長の限界」の示す点、過去の崩壊した文明や国家の事例を紹介した。</p> <p>人類が多量の資源を消費し、多量の排出物を自然環境に出している問題に加え、新たな脅威を起す可能性の生産活動（遺伝子操作による生物の誕生、意思を持った人工知能体の誕生）を開始していることを提言した。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>本科目は、レポート科目です。2つのレポートを提出してすべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 資源</p> <p>第2章 資源循環—リサイクル—</p> <p>第3章 持続可能な社会は構築できるか</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(白鳥 和彦先生 職歴) 積水化学工業(株) 住宅技術研究所・環境経営部・CSR部 産業環境管理協会 地域・産業支援部門
	授業内容との関連性	製造業で環境領域の研究開発から環境経営・CSR経営の施策立案・推進など企業実務の経験から得た知見を基に指導を行う。
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	特定課題研究演習（環境__環境）	
担当教員	明石 修・一方井 誠治・磯部 孝行・伊尾木 慶子・白鳥 和彦・高橋 和枝・真名垣 聡・村松 陸雄	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>「特定課題研究演習」は、指定された課題に基づいて特定課題研究論文を執筆する科目です。必修科目なので、この科目の単位を取得しなければ、大学院を修了することはできません。</p> <p>一般的に大学院では修士論文の執筆が必修になっていますが、本学の環境学研究科環境マネジメント専攻では、修士論文に相当するものが特定課題研究論文になります。</p> <p>「環境学研究科環境マネジメント専攻」という研究科名と専攻名が示しているように、研究対象は 環境マネジメントです。具体的には、企業・自治体等の事業所レベルにおける環境改善・低炭素化の ための諸課題、あるいは地域社会における環境改善・低炭素化のための諸課題について、環境マネジメンツの手法や地域特有の地理的・人的・社会的条件の事例調査やフィールド調査によって、持続可 能性の観点からの解決策をまとめるものとします。また特定課題研究の成果は、論文形式又は研究対 象とした事業所や自治体への提案やフィードバックを想定した形式でまとめるものとします。</p> <p>研究には独創性が求められることがあります。しかし、研究において最も重要なのは独創的な結論そのものではなく、どのような方法と手続きによってその結論を導き出したのかという研究方法になります。どんなに独創的な結論であっても、いい加減な研究方法によって導かれたものであるなら、それは研究による結果ではなく、ただの思いつきにしか過ぎません。</p> <p>以上の点から、特定課題研究論文では、あえて独創的な結論は求めずに、確実な研究方法を求めます。「特定課題研究演習」という科目の目的は、研究とはどのようなものであり、どのような方法で進めるのかという、研究能力を身に付けることです。研究能力を身に付けることができれば、大学院修了後、関心のあるテーマを各自で研究することができます。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>授業計画に記載の内容を行い、合格することで4単位を修得します。</p> <p><研究スケジュール></p> <p>(2020年)</p> <p>11月30日まで 「第1次研究計画書」提出</p> <p>12月中旬 指導教員通知または再提出通知</p> <p>12月25日12:00正午まで 「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出 (*指導教員を通知された者のみ)</p> <p>(2021年)</p> <p>1月5日12:00正午まで 「第1次研究計画書」再提出 (*該当者のみ)</p>	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	1月中旬 み)	指導教員通知 (*「第1次研究計画書」再提出者のみ)
	1月19日12:00正午まで	「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出 (*「第1次研究計画書」再提出者のみ)
	2月11日まで を含む)	指導教員決定通知 (「指導教員変更願」の結果通知)
	2月中旬	履修登録
	4月20日まで	「第2次研究計画書」提出
	3月~5月	第1回面接指導
	7月~8月	第2回面接指導
	8月10日まで	「研究経過確認申請」提出
	10月~11月	第3回面接指導
	12月10日まで	「清書論文提出許可願」提出
	12月~1月 (2022年)	第4回面接指導
	1月10日まで	「清書論文」提出「清書論文提出届」提出
	1月下旬か2月上旬	公聴会・口述試問
	2月上旬	成績通知
	*第2回目以降の面接指導は、指導教員と履修生が相談して回数と時期を決定します。	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		仏教と共生原理（S）
担当教員		新作 慶明
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、仏教における「共生」の原理を学習し、学習者自身の共生観を構築することを目的とします。</p> <p>今日、様々な分野で「共生」が主張されていますが、裏を返せば、いまこそ共生が考えられなければならない、ということになります。そこで、本科目では、仏教文献の中に見られる「共生」について、個人の生き方・社会との関わり方という視点をもって、学んでいきます。最終的な到達目標は、仏教思想の現代的意義と社会福祉思想との関連を考え、他職種・他機関との協同・連携力を身につけることにあります。</p>
	テキストの概要	竹村牧男『ブッディスト・エコロジー —共生・環境・いのちの思想』（ノンブル社、2016年）
授業計画		<p>スクーリングを選択した場合、スクーリングは本学で開催される原則100分の講義を14時間受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 イン트로ダクション</p> <p>第02回 共生とは何か</p> <p>第03回 仏教と共生①「個人と世界」</p> <p>第04回 仏教と共生①</p> <p>第05回 仏教と共生②「幸福・苦」</p> <p>第06回 仏教と共生②</p> <p>第07回 仏教と共生③「煩惱と行為」</p> <p>第08回 仏教と共生③</p> <p>第09回 仏教と共生④「いのち」</p> <p>第10回 仏教と共生④</p> <p>第11回 仏教と共生⑤「環境・自然」</p> <p>第12回 仏教と共生⑤</p> <p>第13回 仏教と共生⑥「自己の探究」</p> <p>第14回 仏教と共生⑥</p> <p><自宅学習></p> <p>I 共生の思想「共生思想の歩みと課題」</p> <p>I 共生の思想「自然と他者と一禅の立場から」</p> <p>I 共生の思想「空海の間人観をめぐって一己心の中の曼荼羅という思想」</p> <p>II 自己と環境「自然との共生と日本の思想」</p> <p>II 自己と環境「己事究明としてのエコ・フィロソフィ」</p> <p>II 自己と環境「仏教に基づく生活指針—新大乘戒の提唱」</p> <p>III いのちの深みへ「人生の苦を見つめて」</p> <p>III いのちの深みへ「仏教の死生観—輪廻とは何か、そこからどう脱却するのか」</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	Ⅲ いのちの深みへ「仏教と神秘主義一禅と密教を中心に」	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		仏教と共生原理（R）	
担当教員		新作 慶明	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、仏教における「共生」の原理を学習し、学習者自身の共生観を構築することを目的とします。</p> <p>今日、様々な分野で「共生」が主張されていますが、裏を返せば、いまこそ共生が考えられなければならない、ということになります。そこで、本科目では、仏教文献の中に見られる「共生」について、個人の生き方・社会との関わり方という視点をもって、学んでいきます。最終的な到達目標は、仏教思想の現代的意義と社会福祉思想との関連を考え、他職種・他機関との協同・連携力を身につけることにあります。</p>	
	テキストの概要	竹村牧男『ブッディスト・エコロジー ―共生・環境・いのちの思想』（ノンブル社、2016年）	
授業計画		<p>2つのレポート（1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>I 共生の思想「共生思想の歩みと課題」</p> <p>I 共生の思想「自然と他者と一禅の立場から」</p> <p>I 共生の思想「空海の人間観をめぐって一己心の中の曼荼羅という思想」</p> <p>II 自己と環境「自然との共生と日本の思想」</p> <p>II 自己と環境「己事究明としてのエコ・フィロソフィ」</p> <p>II 自己と環境「仏教に基づく生活指針―新大乘戒の提唱」</p> <p>III いのちの深みへ「人生の苦を見つめて」</p> <p>III いのちの深みへ「仏教の死生観―輪廻とは何か、そこからどう脱却するのか」</p> <p>III いのちの深みへ「仏教と神秘主義―禅と密教を中心に」</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	
		c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的
備考	

科目名		社会福祉理論研究 (S)
担当教員		野口 友紀子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この授業の目標は、最近の社会福祉原理に関する文献を読み込み、内容に対する理解を深め、批判的検討を通して、社会福祉とは何かという問いに自分なりの答えを見つけ出すことです。そして、自分なりに社会福祉を体系的に説明できるようになることです。</p> <p>本講では古川孝順の学説に従って、社会福祉の目的(歴史)・対象・主体・方法について理解を深めます。具体的には、目的歴史：社会福祉は何のために存立するのか、対象：社会福祉を利用するのは誰なのか・そのような利用者はどのような状況におかれているのか、主体：誰が社会福祉を担うのか、方法：どのようにして対象に接近し援助を行うのか、という問いを巡ってその基本的な考え方を学びます。併せてそしてそれを基盤にしながら受講者自身の諸実践を社会福祉理論という文脈に位置づけることによって、ディプロマポリシーに記載している 1) 困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力、2) リスクマネジメント等を含む組織運営管理能力、組織デザイン・改革力、福祉資源開発力、3) 社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーキング力の基盤形成の一助とすることを期待しています。</p>
	テキストの概要	一般社団法人日本社会福祉学会編(2012)『対論 社会福祉学1 社会福祉原理・歴史』中央法規出版
授業計画		<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、レポートを作成・提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>「社会福祉学の二つの態度—媒介と超越について」</p> <p>「社会福祉学の範囲とソーシャルポリシー」</p> <p>「社会福祉学における対象認識の固有性」</p> <p>「社会福祉における対象認識について」</p> <p>「福祉史における戦前・戦時・戦後—現代の枠組みとその課題」</p> <p>「社会事業はどのように体系化されてきたか—「学」と「ケースワーク」の戦前・戦中・戦後」</p> <p><スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (本授業の意義と目的、成績評価について他) 2. テキストの説明、報告の準備の仕方 3. 「社会福祉学の二つの態度—媒介と超越について」 報告 4. ディスカッション、解説 5. 「社会福祉学の範囲とソーシャルポリシー」 報告 6. ディスカッション、解説 7. 「社会福祉学における対象認識の固有性」 報告

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	8. ディスカッション、解説 9. 「社会福祉における対象認識について」 報告 10. ディスカッション、解説 11. 「福祉史における戦前・戦時・戦後—現代の枠組みとその課題」 報告 12. ディスカッション、解説 13. 振り返り 14. 総括	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		社会福祉理論研究 (R)	
担当教員		野口 友紀子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この授業の目標は、最近の社会福祉原理に関する文献を読み込み、内容に対する理解を深め、批判的検討を通して、社会福祉とは何かという問いに自分なりの答えを見つけ出すことです。そして、自分なりに社会福祉を体系的に説明できるようになることです。</p> <p>本講では古川孝順の学説に従って、社会福祉の目的(歴史)・対象・主体・方法について理解を深めます。具体的には、目的歴史：社会福祉は何のために存立するのか、対象：社会福祉を利用するのは誰なのか・そのような利用者はどのような状況におかれているのか、主体：誰が社会福祉を担うのか、方法：どのようにして対象に接近し援助を行うのか、という問いを巡ってその基本的な考え方を学びます。併せてそしてそれを基盤にしながら受講者自身の諸実践を社会福祉理論という文脈に位置づけることによって、ディプロマポリシーに記載している 1) 困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力、2) リスクマネジメント等を含む組織運営管理能力、組織デザイン・改革力、福祉資源開発力、3) 社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーキング力の基盤形成の一助とすることを期待しています。</p>	
	テキストの概要	一般社団法人日本社会福祉学会編(2012)『対論 社会福祉学1 社会福祉原理・歴史』中央法規出版	
授業計画		<p>2つのレポート(1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート)を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>「社会福祉学の二つの態度—媒介と超越について」</p> <p>「社会福祉学の範囲とソーシャルポリシー」</p> <p>「社会福祉学における対象認識の固有性」</p> <p>「社会福祉における対象認識について」</p> <p>「福祉史における戦前・戦時・戦後—現代の枠組みとその課題」</p> <p>「社会事業はどのように体系化されてきたか—「学」と「ケースワーク」の戦前・戦中・戦後」</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験(経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		ソーシャルワーク理論研究 (S)	
担当教員		木下 大生	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>ソーシャルワークにおける価値、実践における倫理と倫理的ジレンマ、ソーシャルワークの技法、ソーシャルワーク理論の歴史的な背景を理解しながら、特にポストモダン以降の理論について学びを深め、自らの実践と理論の関連性について検討します。ソーシャルワーク理論を各自の実践において検証し、自らの実践の深化を図ることを目的とします。ディプロマポリシーにある、「1. 困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力等」および「3. 社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワークング力等」の向上を目指して学びを深めます。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 心理社会的アプローチ 3. 機能的アプローチ 4. 問題解決アプローチ 5. 家族療法とソーシャルワーク 6. 行動療法とソーシャルワーク 7. 課題中心ソーシャルワーク 8. 生態学的 (エコロジカル) アプローチ 9. ジェネラリスト・アプローチ 10. ケアマネジメント・ソーシャルサポートネットワーク 11. エンパワーメント・アプローチ 12. 構成主義・ナラティブ 13. ソーシャルワークの価値と倫理及び倫理的ジレンマ 14. まとめとふりかえり <p><自宅学習></p> <p>第1部 ソーシャル・ケースワークの実践モデル (第01章～第06章)</p> <p>第2部 統合実践モデルと新しいモデル (第07章～第12章)</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		ソーシャルワーク理論研究 (R)	
担当教員		木下 大生	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>ソーシャルワークにおける価値、実践における倫理と倫理的ジレンマ、ソーシャルワークの技法、ソーシャルワーク理論の歴史的な背景を理解しながら、特にポストモダン以降の理論について学びを深め、自らの実践と理論の関連性について検討します。ソーシャルワーク理論を各自の実践において検証し、自らの実践の深化を図ることを目的とします。ディプロマポリシーにある、「1. 困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力等」および「3. 社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワークング力等」の向上を目指して学びを深めます。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>2つのレポート（1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 ソーシャル・ケースワークの実践モデル（第01章～第06章）</p> <p>第2部 統合実践モデルと新しいモデル（第07章～第12章）</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会福祉制度政策研究（S）	
担当教員		山本 雅章	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>社会福祉政策の幅広い問題を対象として、履修者が選んだ課題（複数）に対して履修者が小論文を書き、担当講師がコメントを述べます。履修者はコメントに対応して小論文を改定する。この繰り返しを経て小論文を完成させます。</p> <p>その過程で履修者は選んだテーマについて、①現状や課題を的確に把握し、②自分の考えを発展させ、それをサポートするエビデンスを集め、③論理の飛躍なく、かつ、分かりやすい文章と付加価値の高い図表で小論文を作成することが求められます。そのスキルは社会福祉学に関する専門的な内容の論文執筆に欠かせないものです。</p>	
	テキストの概要	府川哲夫・磯部文雄著（2017）「保健医療福祉行政論」ミネルヴァ書房	
授業計画		<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第3章 介護サービス 第4章 福祉サービス 第5章 保健医療福祉行財政</p> <p><スクーリング></p> <p>通学制の「社会福祉制度政策研究」では、レポート授業に準じて論文指導を基本にします。その際、単に講師からの一方的な講義ではなく、参加者同士の活発な討議を行いたいと思っています。その過程を通じて普段当たり前だと思っていることを言語化し実践知を明確化することで、多様な視点が提示されると考えています。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		社会福祉制度政策研究（R）	
担当教員		山本 雅章	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>社会福祉政策の幅広い問題を対象として、履修者が選んだ課題（複数）に対して履修者が小論文を書き、担当講師がコメントを述べます。履修者はコメントに対応して小論文を改定する。この繰り返しを経て小論文を完成させます。</p> <p>その過程で履修者は選んだテーマについて、①現状や課題を的確に把握し、②自分の考えを発展させ、それをサポートするエビデンスを集め、③論理の飛躍なく、かつ、分かりやすい文章と付加価値の高い図表で小論文を作成することが求められます。そのスキルは社会福祉学に関する専門的な内容の論文執筆に欠かせないものです。</p>	
	テキストの概要	府川哲夫・磯部文雄著（2017）「保健医療福祉行政論」ミネルヴァ書房	
授業計画		<p>2つのレポート（1つの課題に対して2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第3章 介護サービス</p> <p>第4章 福祉サービス</p> <p>第5章 保健医療福祉行財政</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		ケースワーク特論（S）（実践福祉学専攻）
担当教員		大崎 広行
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>ソーシャルワークは、人と環境との関わり合いを常に複眼的に捉え、人々の生活や人生に関与する、極めて実践的な領域です。本講義では、ソーシャルワーク実践の中核となる個別支援（ケースワーク）について、歴史的な史実も踏まえて、ジェネラリスト・ソーシャルワークやミクロからマクロまでのソーシャルワーク理論に依拠しながら、事例も交えて体系的かつ実践的に学ぶことを目的とします。</p> <p>本科目の到達目標は、上記目的を達成することを通して、困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携の知識を理解すると共に、社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーキング力等を身につけることにあります。</p>
	テキストの概要	久保紘章・?副田あけみ編（2005）『ソーシャルワークの実践モデル—心理社会的アプローチからナラティブまで』川島書店
授業計画		<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 心理社会的アプローチ 第2章 機能的アプローチ 第3章 問題解決アプローチ 第4章 家族療法とソーシャルワーク（家族療法アプローチ） 第5章 行動療法とソーシャルワーク（行動療法アプローチ） 第6章 課題中心アプローチ 第7章 生態学的（エコロジカル）アプローチ 第8章 ジェネラリスト・アプローチ 第11章 エンパワーメント・アプローチ</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 オリエンテーション、ソーシャルワークとは 第02回 ソーシャルワーク理論と実践—過去・現在・未来 第03回 ソーシャルワークの理論と実践の関係再構築 第04回 ソーシャルワークの価値と倫理 第05回 ソーシャルワークにおける人権と社会正義、権威 第06回 ソーシャル・ケースワークの実践モデル1 第07回 ソーシャル・ケースワークの実践モデル2 第08回 ソーシャル・ケースワークの実践モデル3 第09回 ソーシャル・ケースワークの実践モデル4 第10回 統合実践モデルと新しい実践モデル1</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	第 11 回 統合実践モデルと新しい実践モデル 2 第 12 回 統合実践モデルと新しい実践モデル 3 第 13 回 支援の実際と実践現場における今日的課題 1 第 14 回 支援の実際と実践現場における今日的課題 2
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		ケースワーク特論 (R) (実践福祉学専攻)	
担当教員		大崎 広行	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>ソーシャルワークは、人と環境との関わり合いを常に複眼的に捉え、人々の生活や人生に関与する、極めて実践的な領域です。本講義では、ソーシャルワーク実践の中核となる個別支援（ケースワーク）について、歴史的な史実も踏まえて、ジェネラリスト・ソーシャルワークやミクロからマクロまでのソーシャルワーク理論に依拠しながら、事例も交えて体系的かつ実践的に学ぶことを目的とします。</p> <p>本科目の到達目標は、上記目的を達成することを通して、困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携の知識を理解すると共に、社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーキング力等を身につけることにあります。</p>	
	テキストの概要	久保紘章・?副田あけみ編 (2005) 『ソーシャルワークの実践モデルー心理社会的アプローチからナラティブまで』川島書店	
授業計画		<p>2つのレポート（1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 心理社会的アプローチ 第2章 機能的アプローチ 第3章 問題解決アプローチ 第4章 家族療法とソーシャルワーク（家族療法アプローチ） 第5章 行動療法とソーシャルワーク（行動療法アプローチ） 第6章 課題中心アプローチ 第7章 生態学的（エコロジカル）アプローチ 第8章 ジェネラリスト・アプローチ 第11章 エンパワーメント・アプローチ</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		グループワーク特論 (S)	
担当教員		小俣 智子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は、グループワークを机上の学問とせず、実践的な理論とともにグループワークスキルを獲得し、アドバンスソーシャルワーカーを目指すことです。</p> <p>具体的には、グループワーク理論の成り立ちや主要概念、方法論等を学び、それを踏まえて自身の実践を省察・評価し、自らの実践課題を説明できるようになることを目標とします。</p> <p>科目概要は、ソーシャルワークの発展の中でのグループワークの歴史的経緯、グループワークの定義や理論の変遷及びその効果を理解し、その上で実践において活用できるよう方法論としてのグループワーク技術について学んでいきます。</p> <p>身近なソーシャルワーク実践を用いて、実際にグループワークを体験し実践力を高める科目のため、スクーリングを選択することをお勧めします。</p>	
	テキストの概要	大利一雄 (2003) 「グループワーク 理論とその導き方」 勁草書房	
授業計画		<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1週 グループワークの歴史と概要</p> <p>第2週 グループワークのアプローチ・モデル理論</p> <p>第3週 グループワークによる支援の展開 (準備期)</p> <p>第4週 グループワークによる支援の展開 (開始期・オリエンテーション)</p> <p>第5週 グループワークによる支援の展開 (作業期) (終結期)</p> <p>第6週 グループワーク支援 (セルフヘルプ・グループ)</p> <p>第7週 グループワークの実践演習 振り返りとまとめ</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		グループワーク特論 (R)	
担当教員		小俣 智子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は、グループワークを机上の学問とせず、実践的な理論とともにグループワークスキルを獲得し、アドバンスソーシャルワーカーを目指すことです。</p> <p>具体的には、グループワーク理論の成り立ちや主要概念、方法論等を学び、それを踏まえて自身の実践を省察・評価し、自らの実践課題を説明できるようになることを目標とします。</p> <p>科目概要は、ソーシャルワークの発展の中でのグループワークの歴史的経緯、グループワークの定義や理論の変遷及びその効果を理解し、その上で実践において活用できるよう方法論としてのグループワーク技術について学んでいきます。</p> <p>身近なソーシャルワーク実践を用いて、実際にグループワークを体験し実践力を高める科目のため、スクーリングを選択することをお勧めします。</p>	
	テキストの概要	大利一雄 (2003) 「グループワーク 理論とその導き方」 勁草書房	
授業計画		<p>2つのレポート (1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>グループワークの歴史と概要</p> <p>グループワークのアプローチ・モデル理論</p> <p>グループワークによる支援の展開 (準備期)</p> <p>グループワークによる支援の展開 (開始期・オリエンテーション)</p> <p>グループワークによる支援の展開 (作業期) (終結期)</p> <p>グループワーク支援 (セルフヘルプ・グループ)</p> <p>グループワークの実践演習 振り返りとまとめ</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	コミュニティワーク特論 (S)	
担当教員	小田川 華子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>地域社会の変質に伴い、さまざまな生活上の課題や困難を抱えつつも、地域(在宅)で自立した生活を営むためには、安全で安心できる生活圏域の確保が重要課題となっています。ソーシャルワーカーには、今後ますます地域を基盤とした支援を促進するためのコミュニティへのアプローチの機能が求められます。</p> <p>本科目では、困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、多職種・多機関との協働・連携力、人材育成力を高めることや、社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーキング力を高めることと関連しています。より具体的には、メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学ぶとともに、地域の福祉ニーズの把握方法、ソーシャルサポートネットワーク(地域における社会資源)の活用・調整・開発、地域のトータルケアシステムの構築と実際、住民活動・ボランティア活動を支援する方法等について検討し、学ぶことで、我が国の現状にあったコミュニティアプローチについて議論します。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格すること等で2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティワーク(コミュニティ・オーガナイズィング)の概念と歴史 2. それぞれの現場におけるC0実践との関わりと問題意識の共有 3. コミュニティワークの実践例①: ソーシャルディベロップメントを考察する 4. コミュニティワークの概念・実践理論を深掘する: 文献レビューとディスカッション 5. コミュニティワークの実践例②: ソーシャル・アクションを考察する 6. コミュニティ・オーガナイズィング戦略策定演習/実践コーチング 7. コミュニティワークの概念・実践理論を深掘する: 文献レビューとディスカッション 8. コミュニティ・オーガナイズィング戦略策定演習/実践コーチング 9. コミュニティワークの概念・実践理論を深掘する: 文献レビューとディスカッション 10. パブリックナラティブ(スキル)演習/実践コーチング 11. エンパワメントを意図した参加型アクションリサーチ 12. パブリックナラティブ(スキル)演習/実践コーチング 13. ディスカッション: 貧困問題、福祉課題等へのC0の活用 14. ディスカッション: 現代日本におけるC0実践の有用性と課題 	
成績評価の方法	単位認定試験	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		コミュニティワーク特論 (R)
担当教員		小田川 華子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>地域社会の変質に伴い、さまざまな生活上の課題や困難を抱えつつも、地域(在宅)で自立した生活を営むためには、安全で安心できる生活圏域の確保が重要課題となっています。ソーシャルワーカーには、今後ますます地域を基盤とした支援を促進するためのコミュニティへのアプローチの機能が求められます。</p> <p>本科目では、困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、多職種・多機関との協働・連携力、人材育成力を高めることや、社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーキング力を高めることと関連しています。より具体的には、メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学ぶとともに、地域の福祉ニーズの把握方法、ソーシャルサポートネットワーク(地域における社会資源)の活用・調整・開発、地域のトータルケアシステムの構築と実際、住民活動・ボランティア活動を支援する方法等について検討し、学ぶことで、我が国の現状にあったコミュニティアプローチについて議論します。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>2つのレポート(1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート)を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目のレポート <p>メゾ・マクロレベル(特にコミュニティ)でのソーシャルワークとは何かを説明した上で、過去に行われたメゾ・マクロレベルでのソーシャルワークの実践事例を取り上げ、そこで活用されていたメゾ・マクロレベル(特にコミュニティ)のアプローチとそのアプローチを活用した根拠(理由)を記述してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目のレポート <p>「第1回レポートの添削内容を参考にして、書き直しなさい。(具体的には、添削で指示する。)」</p> <p>*字数:2,400字以上(文字数の上限は制限しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定申請レポート課題 <p>異なる2つの地域のフィールドワークを通して、それぞれの地域で起きているさまざまな生活上の課題や困難を抱えている状況を説明し、それらの問題解決に向けて活用可能なメゾ・マクロレベル(特にコミュニティ)でのソーシャルワークの方法とその根拠(理由)を記述してください。</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a:実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		スーパービジョン特論 (S)	
担当教員		稗田 里香	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	本科目の到達目標は、専門職としてのソーシャルワーカーを養成するためのトレーニング・プロセスであるスーパービジョンの理論と方法を段階的かつ実践的に学び、スーパーバイザーとして実践の場でスーパービジョンが展開できる技術を身につけ、自らの職場における新人養成や人材育成においてソーシャルワークのスーパービジョンを実施し後進指導の役割を担えるようにすることです。	
	テキストの概要	福山和女ほか編 (2018) 『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン』 ミネルヴァ書房	
授業計画		スクーリングを選択した場合、スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。 <スクーリング> 01. スーパービジョンの効果と意義 02. 欧米におけるスーパービジョンの理論的変遷 03. 新たなソーシャルワーク・スーパービジョン 04. スーパービジョンを説明する 05. スーパービジョンの効果上げる 06. スーパービジョン実施のための準備 07. スーパービジョンの体制の評価を考える 08. スーパーバイザーの悩み 09. スーパーバイザーとスーパーバイザーの共同作業 10. スーパービジョンの倫理 1 11. スーパービジョンの倫理 1 12. スーパーバイザーの教育 13. スーパービジョンの研究 スーパービジョンの質的研究、量的研究 14. まとめ	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		スーパービジョン特論 (R)
担当教員		稗田 里香
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	本科目の到達目標は、専門職としてのソーシャルワーカーを養成するためのトレーニング・プロセスであるスーパービジョンの理論と方法を段階的かつ実践的に学び、スーパーバイザーとして実践の場でスーパービジョンが展開できる技術を身につけ、自らの職場における新人養成や人材育成においてソーシャルワークのスーパービジョンを実施し後進指導の役割を担えるようにすることです。
	テキストの概要	福山和女ほか編 (2018) 『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン』 ミネルヴァ書房
授業計画		<p>レポートを選択した場合、2つのレポート (1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章 スーパービジョンの効果と意義</p> <p>第02章 欧米におけるスーパービジョンの理論的変遷</p> <p>第03章 新たなソーシャルワーク・スーパービジョン</p> <p>第04章 スーパービジョンを説明する</p> <p>第05章 スーパービジョンの効果を上げるためには</p> <p>第06章 スーパービジョン実施のための準備</p> <p>第07章 スーパービジョンの体制の評価を考える</p> <p>第08章 スーパーバイザーの悩み</p> <p>第09章 スーパーバイザーとスーパーバイザーの共同作業</p> <p>第10章 スーパービジョンの倫理</p> <p>第11章 スーパーバイザーの教育</p> <p>第12章 スーパービジョンの研究</p>
成績評価の方法		単位認定試験
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		ケースマネジメント特論（S）
担当教員		渡邊 浩文
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	本科目では、ケースマネジメントの理解を通して、様々な課題を抱えながら地域で生活する人々への支援のあり方について検討します。具体的には、ケースマネジメントが必要とされる背景について学び、どのようなニーズに対してケースマネジメントを活用することが必要かについての理解を深めます。そのうえで、ケースマネジメントの機能として、アセスメント、サービス支援計画、モニタリング等の詳細について学びます。以上を通して、困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力等を身に着けることを目指します。
	テキストの概要	デイビッド P. マクスリー（著）、野中 猛（翻訳）、加瀬 裕子（翻訳）（1994）『ケースマネジメント入門』中央法規出版
授業計画		<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 対人サービスのケースマネジメント 第2章 サービスと支援のニーズに関するアセスメント 第3章 サービス支援計画の展開 第4章 ケースマネジメントの直接サービス機能 第5章 ケースマネジメントの間接サービス機能 第6章 ケースマネジメントのモニタリング機能 第7章 ケースマネジメントの評価機能 第8章 効果的なケースマネジメント：実践の指針</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 ケースマネジメントの概念及び必要とされる背景 第02回 ケースマネジメントのプロセス 第03回 ケースマネジメントにおけるアセスメント① 第04回 ケースマネジメントにおけるアセスメント② 第05回 ケースマネジメントにおけるニーズ① 第06回 ケースマネジメントにおけるニーズ② 第07回 ケースマネジメントにおけるサービス支援計画 第08回 ケースマネジメントの間接サービス機能 第09回 ケースマネジメントにおけるモニタリングと評価 第10回 ケースマネジメントとソーシャルワーク 第11回 ケースマネジメントの実際① 第12回 ケースマネジメントの実際② 第13回 ケースマネジメントの実際③ 第14回 まとめ</p>

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		ケースマネジメント特論 (R)	
担当教員		渡邊 浩文	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、ケースマネジメントの理解を通して、様々な課題を抱えながら地域で生活する人々への支援のあり方について検討します。具体的には、ケースマネジメントが必要とされる背景について学び、どのようなニーズに対してケースマネジメントを活用することが必要かについての理解を深めます。そのうえで、ケースマネジメントの機能として、アセスメント、サービス支援計画、モニタリング等の詳細について学びます。以上を通して、困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力等を身に着けることを目指します。</p>	
	テキストの概要	<p>デイビッド P. マクスリー (著), 野中 猛 (翻訳), 加瀬 裕子 (翻訳) (1994) 『ケースマネジメント入門』中央法規出版</p>	
授業計画		<p>2つのレポート (1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート) を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 対人サービスのケースマネジメント 第2章 サービスと支援のニーズに関するアセスメント 第3章 サービス支援計画の展開 第4章 ケースマネジメントの直接サービス機能 第5章 ケースマネジメントの間接サービス機能 第6章 ケースマネジメントのモニタリング機能 第7章 ケースマネジメントの評価機能 第8章 効果的なケースマネジメント：実践の指針</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	ソーシャルアドミニストレーション特論 (S)
担当教員	熊田 博喜
授業方法	講義
科目の概要	<p>本科目の到達目標は、ソーシャルワークのメゾ・マクロ実践の一つであるソーシャルアドミニストレーションについて理解を深め、その「視点」から実践を考察し理解を深められるようにすることにあります。</p> <p>ソーシャルアドミニストレーションという概念が日本で受容されてからかなり経過していますが、必ずしもその概念が十分に浸透したり、理解が進んでいるとは言えない状況にあります。例えば『現代社会福祉辞典』(有斐閣)には、「イギリスにおいて、福祉国家や社会サービスに関する研究を行う学問分野や研究主題を言い表すときに、その総称としても用いられることがある」(秋元他 2003:299 頁)と記述されており、以前は「社会福祉行政」、今日では一般的に「社会福祉管理」「社会福祉経営」と訳されています。この背景には、この概念が普及し始めた 1960～70 年代当時、社会福祉という事象を管理し経営していた主体が行政だったということに起因しています。しかしながら 1970 年代以降、福祉サービスの供給体制が多元化する中で、行政から非営利組織や企業組織といった様々な主体によってサービス提供が担われるようになり、その概念も拡散しつつある状況にあるといえます。</p> <p>本講では、ソーシャルアドミニストレーションを「福祉におけるサービス提供団体の運営管理に関する領域」として捉え、ニーズ(必要)に対するリソース(資源)、そしてその資源の供給主体、資源共共有の方法という基本的視点を日本における当該領域の泰斗の一人でもある三浦文夫の学説を踏まえてその基本的な考え方を理解しつつ、団体の運営管理の視点からサービス・プログラムの組織化と組織開発(組織経営・組織行動・人的資源マネジメント)、供給主体の協働(組織戦略・ソーシャルマーケティング)等について基本的理解を深めることを目的とします。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>[2020 年度入学以前の受講者]</p> <p>1) R・M・ティトマス/三友雅夫(監訳)(1981)『社会福祉政策』恒星社厚生閣</p> <p>2) イエスタ エスピン-アンデルセン / 岡沢 憲英, 宮本 太郎(翻訳)(2001)『福祉資本主義の三つの世界 (MINERVA 福祉ライブラリー)』ミネルヴァ書房</p> <p>[2021 年度入学以降の受講者]</p> <p>1) 三浦文夫(1995)『<増補改訂>社会福祉政策研究』全社協【テキスト1】</p> <p>2) 金井壽宏(1999)『経営組織』日本経済新聞社【テキスト2】</p>
授業計画	<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回：オリエンテーション</p> <p>第02回：ソーシャルアドミニストレーションを巡る諸定義：講義(ティトマス等、イギリスのソーシャルアドミニストレーション論を中心に</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	<p>第 03 回：ソーシャルアドミニストレーションの日本的文脈①(三浦理論を中心に)：講義</p> <p>第 04 回：ソーシャルアドミニストレーションの日本的文脈②(三浦理論を中心に)：講義と発表</p> <p>第 05 回：サービス・プログラムの組織化と組織開発①(組織経営を巡って)：講義</p> <p>第 06 回：サービス・プログラムの組織化と組織開発②(組織経営を巡って)：発表と講義</p> <p>第 07 回：サービス・プログラムの組織化と組織開発③(組織行動を巡って)：講義</p> <p>第 08 回：サービス・プログラムの組織化と組織開発④(組織行動を巡って)：発表と講義</p> <p>第 09 回：サービス・プログラムの組織化と組織開発⑤(人的資源マネジメントを巡って)：講義</p> <p>第 10 回：サービス・プログラムの組織化と組織開発⑥(人的資源マネジメントを巡って)：講義と発表</p> <p>第 11 回：供給主体の協働①(組織戦略を巡って)：講義</p> <p>第 12 回：供給主体の協働②(組織戦略を巡って)：発表と講義</p> <p>第 13 回：供給主体の協働③(ソーシャルマーケティング)：講義</p> <p>第 14 回：供給主体の協働④(ソーシャルマーケティング)：発表と講義</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名	ソーシャルアドミニストレーション特論 (R)
担当教員	熊田 博喜
授業方法	講義
科目の概要	<p>本科目の到達目標は、ソーシャルワークのメゾ・マクロ実践の一つであるソーシャルアドミニストレーションについて理解を深め、その「視点」から実践を考察し理解を深められるようにすることにあります。</p> <p>ソーシャルアドミニストレーションという概念が日本で受容されてからかなり経過していますが、必ずしもその概念が十分に浸透したり、理解が進んでいるとは言えない状況にあります。例えば『現代社会福祉辞典』(有斐閣)には、「イギリスにおいて、福祉国家や社会サービスに関する研究を行う学問分野や研究主題を言い表すときに、その総称としても用いられることがある」(秋元他 2003:299 頁)と記述されており、以前は「社会福祉行政」、今日では一般的に「社会福祉管理」「社会福祉経営」と訳されています。この背景には、この概念が普及し始めた 1960～70 年代当時、社会福祉という事象を管理し経営していた主体が行政だったということに起因しています。しかしながら 1970 年代以降、福祉サービスの供給体制が多元化する中で、行政から非営利組織や企業組織といった様々な主体によってサービス提供が担われるようになり、その概念も拡散しつつある状況にあるといえます。</p> <p>本講では、ソーシャルアドミニストレーションを「福祉におけるサービス提供団体の運営管理に関する領域」として捉え、ニーズ(必要)に対するリソース(資源)、そしてその資源の供給主体、資源共共有の方法という基本的視点を日本における当該領域の泰斗の一人でもある三浦文夫の学説を踏まえてその基本的な考え方を理解しつつ、団体の運営管理の視点からサービス・プログラムの組織化と組織開発(組織経営・組織行動・人的資源マネジメント)、供給主体の協働(組織戦略・ソーシャルマーケティング)等について基本的理解を深めることを目的とします。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>[2020 年度入学以前の受講者]</p> <p>1) R・M・ティトマス/三友雅夫(監訳)(1981)『社会福祉政策』恒星社厚生閣</p> <p>2) イエスタ エスピン-アンデルセン / 岡沢 憲英, 宮本 太郎(翻訳)(2001)『福祉資本主義の三つの世界 (MINERVA 福祉ライブラリー)』ミネルヴァ書房</p> <p>[2021 年度入学以降の受講者]</p> <p>1) 三浦文夫(1995)『<増補改訂>社会福祉政策研究』全社協【テキスト1】</p> <p>2) 金井壽宏(1999)『経営組織』日本経済新聞社【テキスト2】</p>
授業計画	<p>2つのレポート(1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート)を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01 課題:受講者が所属している組織(所属していない場合は仮定して書いてください)の①組織(団体)の名称・事業内容、②選んだ章の内容に沿って自分の組織(団体)の現状・課題をテキストの内容を踏まえて分析して記述して下さい。</p> <p>第02 課題:第1回レポートの添削内容を参考にして加筆・追加課題に取り組む</p>

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	単位認定:本稿で学んだソーシャルアドミネストレーションを踏まえて、まず①ソーシャルアドミネストレーションを整理し、②あなたの経験・考えを踏まえて自由に論じなさい。	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	プログラムエバリュエーション特論 (S)	
担当教員	小高 真美	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は、社会福祉の現場におけるプログラム開発及びその評価に関する実践力を身に着けることです。</p> <p>近年、社会福祉の問題の解決に向けた個々の社会福祉実践や組織的な介入プログラムは、科学的な効果評価が求められるようになってきています。また、ソーシャルワーカーには、いわゆるはざまのニーズといわれるような社会福祉ニーズを見える化し、プログラム化する能力が求められています。本科目では、社会問題の改善に向けた個々の社会福祉実践や組織的かつ継続的なプログラムについて、開発、あるいはその改善を図り、より効果的な実践やプログラムに発展させていくことを目的としたプログラム構築及びその評価の方法について検討します。具体的には、実践やプログラムの機能、効果を科学的かつ体系的に把握、評価、検討していくための方策について、社会調査などの科学的手法を活用しつつ、社会福祉実践に根ざしたアプローチ法の検討を行います。</p>
	テキストの概要	<p>テキスト①：安田 節之， 渡辺 直登【著】（2008）『プログラム評価研究の方法（臨床心理学研究法 第7巻）』新曜社</p> <p>テキスト②：スミス， マイケル【著】〈Smith, Michael J.〉/藤江 昌嗣【監訳】/矢代 隆嗣【訳】（2009）『プログラム評価入門—行政サービス、介護、福祉サービス等ヒューマンサービス分野を中心に』梓出版社</p>
授業計画	<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラム評価の概要/プログラムの目的の設定 2. 研究計画1 3. 研究計画2 4. プログラム評価の実行とデータの分析1 5. プログラム評価の実行とデータの分析2 6. プログラム評価の結果の報告 7. プログラムの記述・目的の設定の演習① 8. プログラムの記述・目的の設定の演習② 9. 研究計画の演習1 10. 研究計画の演習2 11. 研究計画の演習3 12. プログラム評価の実行とデータの分析の演習1 13. プログラム評価の実行とデータの分析の演習2 14. まとめ <p><自宅学習></p> <p>①『プログラム評価研究の方法（臨床心理学研究法 第7巻）』</p>	

	第1章 プログラム評価とは 第2章 事前調査とプログラムの検討 第3章 プログラム評価の計画と実施 第4章 プロセス評価 第5章 アウトカム評価 第6章 実験的手法を用いたプログラム評価 第7章 プログラム評価における測定の問題 第8章 さまざまな評価アプローチ 第9章 評価実施についての諸事項 ②『プログラム評価入門—行政サービス、介護、福祉サービス等ヒューマンサービス分野を中心に』 第1章 プログラム評価概論 第2章 プログラム評価の包括的な定義 第3章 ステップⅠ プログラムの記述 第4章 ステップⅡ プログラムの目的の設定 第5章 ステップⅢ 研究計画 第6章 ステップⅣ・Ⅴ プログラム評価の実行とデータの分析 第7章 ステップⅥ プログラム評価の結果の報告	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		プログラムエバリュエーション特論 (R)
担当教員		小高 真美
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は、社会福祉の現場におけるプログラム開発及びその評価に関する実践力を身に着けることです。</p> <p>近年、社会福祉の問題の解決に向けた個々の社会福祉実践や組織的な介入プログラムは、科学的な効果評価が求められるようになってきています。また、ソーシャルワーカーには、いわゆるはざまのニーズといわれるような社会福祉ニーズを見える化し、プログラム化する能力が求められています。本科目では、社会問題の改善に向けた個々の社会福祉実践や組織的かつ継続的なプログラムについて、開発、あるいはその改善を図り、より効果的な実践やプログラムに発展させていくことを目的としたプログラム構築及びその評価の方法について検討します。具体的には、実践やプログラムの機能、効果を科学的かつ体系的に把握、評価、検討していくための方策について、社会調査などの科学的手法を活用しつつ、社会福祉実践に根ざしたアプローチ法の検討を行います。</p>
	テキストの概要	<p>テキスト①：安田 節之， 渡辺 直登【著】（2008）『プログラム評価研究の方法（臨床心理学研究法 第7巻）』新曜社</p> <p>テキスト②：スミス， マイケル【著】〈Smith, Michael J.〉/藤江 昌嗣【監訳】/矢代 隆嗣【訳】（2009）『プログラム評価入門—行政サービス、介護、福祉サービス等ヒューマンサービス分野を中心に』梓出版社</p>
授業計画		<p>2つのレポート（1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>①『プログラム評価研究の方法（臨床心理学研究法第7巻）』</p> <p>第1章 プログラム評価とは</p> <p>第2章 事前調査とプログラムの検討</p> <p>第3章 プログラム評価の計画と実施</p> <p>第4章 プロセス評価</p> <p>第5章 アウトカム評価</p> <p>第6章 実験的手法を用いたプログラム評価</p> <p>第7章 プログラム評価における測定の問題</p> <p>第8章 さまざまな評価アプローチ</p> <p>第9章 評価実施についての諸事項</p> <p>②『プログラム評価入門—行政サービス、介護、福祉サービス等ヒューマンサービス分野を中心に』</p> <p>第1章 プログラム評価概論</p> <p>第2章 プログラム評価の包括的な定義</p> <p>第3章 ステップⅠ プログラムの記述</p> <p>第4章 ステップⅡ プログラムの目的の設定</p>

	第5章 ステップⅢ 研究計画	
	第6章 ステップⅣ・Ⅴ プログラム評価の実行とデータの分析	
	第7章 ステップⅥ プログラム評価の結果の報告	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	チームアプローチ特論 (S)
担当教員	矢野 明宏
授業方法	講義
科目の概要	到達目標
	テキストの概要
授業計画	

本講の到達目標は、ソーシャルワークにおけるチームアプローチの概念整理をし、日頃の実践に有効に活かせる高度な実践力・支援力を身につけることです。

そのことによって、本専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の以下に示してある力的一端を育てていくことにもなります。

1. リスクマネジメント等を含む組織運営管理能力、組織デザイン・改革力、福祉資源開発力等を有していること。
2. 困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力等を有していること。
3. 社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーク力等を有していること。

テキスト構成としては、7章立てとなっています。

第1章では、ケアチームの概念について、整理されています。そもそものチームを中心とした概念整理をしています。第2章では、チームワークの難しさについて整理しています。チームアプローチの重要性は遠い鴨から叫ばれていますが、皆さんは、この章にあるような困難さのために、チームが機能していない現実を目の当たりにしているかもしれません。第3章では、チームワークの効果について整理しています。チームワークの難しさを克服すれば、チームの効果が明確になっていきます。第4章では、チームワークの工夫について整理しています。皆さんもチームを運営するうえで、さまざまな工夫を凝らしていることと思います。それらを整理してみましょう。第5章では、チームにはそのチームに応じたリーダーシップを発揮する人が必要です。そこでリーダーシップにまつわる知識を整理していきます。第6章では、チームを含むそもそもの組織について整理されています。モチベーションや各種マネジメントについても振り返ることになります。第7章は、課題について整理しています。皆さんの課題についてここで改めて振り返ってください。

スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。

<スクーリング>

第01回：イントロダクション・自分の思うチームアプローチとは

<基本整理編>

第02回：今、なぜチームアプローチなのか？

第03回：ソーシャルワーク専門職関係の法律、倫理綱領にみるチームアプローチ

第04回：地域包括支援センター等にみるチームアプローチ

第05回：チームアプローチの定義

第06回：他職種チームについて

	<p>第 07 回：包括的支援システムとネットワーク <実践事例編>（許容範囲内で受講生の実践事例を加工して用いる場合もある） 第 08 回：チームアプローチの実際①在宅高齢者の権利擁護 第 09 回：チームアプローチの実際②終末期緩和ケア 第 10 回：チームアプローチの実際③居宅介護支援事業所を中心とした支援 第 11 回：チームアプローチの実際④精神障害者の退院支援 <まとめ編> 第 12 回：多職種とのパートナーシップ、チームアプローチの阻害要因 第 13 回：チームをめぐる倫理問題と個人情報保護・チームコンピテンス 第 14 回：総括 <自宅学習> 第 1 章 チームケアの概念 第 2 章 チームワークの難しさ 第 3 章 チームワークの効果 第 4 章 チームワークの工夫 第 5 章 リーダーシップ論 第 6 章 組織管理論 第 7 章 われわれの課題</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	チームアプローチ特論 (R)
担当教員	矢野 明宏
授業方法	講義
科目の概要	到達目標
	テキストの概要
授業計画	

本講の到達目標は、ソーシャルワークにおけるチームアプローチの概念整理をし、日頃の実践に有効に活かせる高度な実践力・支援力を身につけることです。

そのことによって、本専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の以下に示してある力的一端を育んでいくことにもなります。

1. リスクマネジメント等を含む組織運営管理能力、組織デザイン・改革力、福祉資源開発力等を有していること。
2. 困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力等を有していること。
3. 社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーク力等を有していること。

テキスト構成としては、7章立てとなっています。

第1章では、ケアチームの概念について、整理されています。そもそものチームを中心とした概念整理をしています。第2章では、チームワークの難しさについて整理しています。チームアプローチの重要性は遠い鴨から叫ばれていますが、皆さんは、この章にあるような困難さのために、チームが機能していない現実を目の当たりにしているかもしれません。第3章では、チームワークの効果について整理しています。チームワークの難しさを克服すれば、チームの効果が明確になっていきます。第4章では、チームワークの工夫について整理しています。皆さんもチームを運営するうえで、さまざまな工夫を凝らしていることと思います。それらを整理してみましょう。第5章では、チームにはそのチームに応じたリーダーシップを発揮する人が必要です。そこでリーダーシップにまつわる知識を整理していきます。第6章では、チームを含むそもそもの組織について整理されています。モチベーションや各種マネジメントについても振り返ることになります。第7章は、課題について整理しています。皆さんの課題についてここで改めて振り返ってください。

2つのレポート（1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート）を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。

<自宅学習>

- 第1章 チームケアの概念
- 第2章 チームワークの難しさ
- 第3章 チームワークの効果
- 第4章 チームワークの工夫
- 第5章 リーダーシップ論
- 第6章 組織管理論
- 第7章 われわれの課題

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	ソーシャルワークリサーチ特論 (S)	
担当教員	永野 咲	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>はじめに、2学期開講のソーシャルワークリサーチ演習(必修・スクーリング)では、本科目内容の修得が前提となります。また、本科目は担当教員全員によるオムニバス形式となるため、スクーリングでの履修を強く勧めます。しかし、当該科目の内容をすでに修得している場合には、本科目の履修は必要ありません。そのため、本科目は選択科目となっています。</p> <p>さて、ソーシャルワーカーには、理論実践の統合を目指し、当事者のニーズに立った援助技法や理論の開発・展開、新たな福祉制度・政策デザインの構築のための調査・研究力が求められます。ミクロ・メゾ・マクロレベルでのソーシャルワーク実践においてリサーチは必須の技術であり、修士号を有するソーシャルワーカーには、その技術の「修得」が求められます。</p> <p>本講義では、社会福祉学研究の目的・特徴・範囲、研究倫理を踏まえた上で、量的(統計)調査法、質的調査法の基礎について理解します。また、文献研究法についても取り扱います。そこで、本科目の到達目標は、社会福祉現場及びソーシャルワーク実践における当事者のニーズを把握する調査能力や福祉資源開発の根拠を示すためのエビデンスを得る方法・技術に関する知識を身につけることとします。</p> <p>具体的には、個人の実践の経過、判断・行動の根拠、成果と課題等について客観的に記述・言語化し、検証するための企画(リサーチデザイン)、研究仮説の設定と検証、研究方法の適切性の吟味、先行研究の資料収集及び精査の方法等を学び、自らの研究計画を作成します。この方法・技術に関する知識を身につけることは、実践の評価等に応用が可能であり、根拠をもって社会福祉学に関する専門的な内容の論文執筆を行うための知識として必要です。ソーシャルワーカーがリサーチの技術を必要とする意味、ソーシャルワークにおける先行研究のレビューの方法、リサーチのデザイン(研究の設計と手順)、量的・質的なデータの分析方法を学びます。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリングは本学で開催される講義を受講し、レポートを作成・提出することで2単位を修得します。</p> <p>〈スクーリング〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(本演習の意義と目的、成績評価について他) 問いのたて方、研究計画の作り方 2. 先行研究(文献)の探し方とまとめ方 3. 先行研究のレビューの発表 4. 研究の種類と概要 5. 量的研究の方法1(概要) 6. 量的研究の方法2(データの収集方法と分析方法) 	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	7. 質的研究の方法 1 (質的研究の方法・種類) 8. 質的研究の方法 2 (データの収集方法と分析方法) 9. ミクロレベルの評価分析・研究の実際 1 10. ミクロレベルの評価分析・研究の実際 2 11. メゾレベルの評価分析・研究の実際 12. 海外研究・国際比較研究の実際 13. 問題を政策と結ぶ研究の実際 14. 研究計画の発表とまとめ	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b : 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	ソーシャルワークリサーチ特論 (R)	
担当教員	永野 咲	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>はじめに、2学期開講のソーシャルワークリサーチ演習(必修・スクーリング)では、本科目内容の修得が前提となります。また、本科目は担当教員全員によるオムニバス形式となるため、スクーリングでの履修を強く勧めます。しかし、当該科目の内容をすでに修得している場合には、本科目の履修は必要ありません。そのため、本科目は選択科目となっています。</p> <p>さて、ソーシャルワーカーには、理論実践の統合を目指し、当事者のニーズに立った援助技法や理論の開発・展開、新たな福祉制度・政策デザインの構築のための調査・研究力が求められます。ミクロ・メゾ・マクロレベルでのソーシャルワーク実践においてリサーチは必須の技術であり、修士号を有するソーシャルワーカーには、その技術の「修得」が求められます。</p> <p>本講義では、社会福祉学研究の目的・特徴・範囲、研究倫理を踏まえた上で、量的(統計)調査法、質的調査法の基礎について理解します。また、文献研究法についても取り扱います。そこで、本科目の到達目標は、社会福祉現場及びソーシャルワーク実践における当事者のニーズを把握する調査能力や福祉資源開発の根拠を示すためのエビデンスを得る方法・技術に関する知識を身につけることとします。</p> <p>具体的には、個人の実践の経過、判断・行動の根拠、成果と課題等について客観的に記述・言語化し、検証するための企画(リサーチデザイン)、研究仮説の設定と検証、研究方法の適切性の吟味、先行研究の資料収集及び精査の方法等を学び、自らの研究計画を作成します。この方法・技術に関する知識を身につけることは、実践の評価等に応用が可能であり、根拠をもって社会福祉学に関する専門的な内容の論文執筆を行うための知識として必要です。ソーシャルワーカーがリサーチの技術を必要とする意味、ソーシャルワークにおける先行研究のレビューの方法、リサーチのデザイン(研究の設計と手順)、量的・質的なデータの分析方法を学びます。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>2つのレポート(1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート)を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 社会福祉研究とは何か</p> <p>第2部 研究の設計と手順</p> <p>第3部 研究事例に学ぶ</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		ケースカンファレンス特論 (S)	
担当教員		高橋 幸三郎	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	① ケースカンファレンスの2本柱である「事例検討」と「事例研究」について学習する ② 上記2本柱の学習に「質的調査(研究)」をどのように役立てるかを理解する ③ 社会福祉現場における当事者ニーズに関わる調査能力を身に付ける	
	テキストの概要	「質的社会調査の基本技法：援助と説明に必要な情報収集と分析について」『武蔵野大学人間科学研究所年報3号』平成26年 79-93. 「社会福祉援助に関わる説明内容の比較的考察：質的研究と事例研究カンファレンスで明らかにできること」『武蔵野大学人間科学研究所年報第5号』平成28年 135-148	
授業計画		スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで2単位を修得します。 <スクーリング> 第01回 授業の進め方 第02回 ケースカンファレンスに関する共通理解 第03回 質的調査とケースカンファレンスの違い① 第04回 質的調査の基本技法② 第05回 質的調査の基本技法③ 第06回 質的調査の基本技法④ 第07回 質的調査の基本技法⑤ 第08回 ケースカンファレンスの基本：事例検討・事例研究① 第09回 事例検討の基本② 第10回 事例研究の基本③ 第11回 事例検討と事例研究の方法論上の違い④ 第12回 実践事例に学ぶ① 第13回 実践事例に学ぶ② 第14回 総括：ケースカンファレンスの技法	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		ケースカンファレンス特論 (R)	
担当教員		高橋 幸三郎	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	① ケースカンファレンスの2本柱である「事例検討」と「事例研究」について学習する ② 上記2本柱の学習に「質的調査(研究)」をどのように役立てるかを理解する ③ 社会福祉現場における当事者ニーズに関わる調査能力を身に付ける	
	テキストの概要	「質的社会調査の基本技法：援助と説明に必要な情報収集と分析について」『武蔵野大学人間科学研究所年報3号』平成26年 79-93. 「社会福祉援助に関わる説明内容の比較的考察：質的研究と事例研究カンファレンスで明らかにできること」『武蔵野大学人間科学研究所年報第5号』平成28年 135-148	
授業計画		2つのレポート(1つの課題に対してそれぞれ2つのレポート)を提出し、すべてに合格し、単位認定申請レポートを提出することで2単位を修得します。 <自宅学習> 第1論文 質的社会調査の基本的な方法：実践と説明に求められるデータの収集と分析 第2論文 社会福祉援助に関わる「説明」内容の比較的考察：質的研究と事例研究カンファレンスで明らかにできること	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との 関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の 経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・ 実習の目的		
備考			

科目名		ソーシャルワークリサーチ演習	
担当教員		渡辺 裕一	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本演習の到達目標は、社会福祉現場及びソーシャルワーク実践における当事者のニーズを把握する調査能力や福祉資源開発の根拠を示すためのエビデンスを得る方法・技術に関する知識を身につけることとします。具体的には、個人の実践の経過、判断・行動の根拠、成果と課題等について客観的に記述・言語化し、検証するための企画（リサーチデザイン）、研究仮説の設定と検証、研究方法の適切性の吟味、先行研究の資料収集及び精査の方法等を学び、自らの研究計画を作成します。この方法・技術に関する知識を身につけることは、実践の評価等に応用が可能であり、根拠をもって社会福祉学に関する専門的な内容の論文執筆を行うための知識として必要です。ソーシャルワーカーがリサーチの技術を必要とする意味、ソーシャルワークにおける先行研究のレビューの方法、リサーチのデザイン（研究の設計と手順）、量的・質的なデータの分析方法を身につけられるよう演習に取り組みます。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>本科目はスクーリングだけの学習方法で開講されます。スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで1単位を修得します。</p> <p><スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（本演習の意義と目的、成績評価について他） 2. 問い、問題意識を発表する、先行研究（文献）を探し、文献リストを作成する 3. 先行研究のレビューの発表① 4. 先行研究のレビューの発表② 5. 研究計画の発表① 6. 研究計画の発表② 7. 研究計画の発表③ 8. 研究計画の発表④ 9. 研究計画の発表⑤ 10. 研究計画の発表⑥ 11. 研究計画の発表⑦ 12. 研究計画の発表⑧ 13. まとめ 14. まとめ 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

科目名		フィールドワーク演習	
担当教員		大崎 広行・木下 大生・熊田 博喜・野口 友紀子・稗田 里香・渡辺 裕一・渡邊 浩文	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>フィールドワーク演習は、専攻のディプロマポリシーに記載している</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 困難事例に対する高度なソーシャルワーク技能、他職種・他機関との協働・連携力、人材育成力等を有していること。 2. リスクマネジメント等を含む組織運営管理能力、組織デザイン・改革力、福祉資源開発力等を有していること。 3. 社会福祉の現場における当事者のニーズを把握する調査能力、福祉資源開発力、ネットワーク力等を有していること。 <p>を社会福祉の実践現場を通して受講者自らの実践を振り返り、スーパービジョンを受けることによって涵養することを目的とする科目である。</p>	
	テキストの概要	テキストは原則使用しないが、こちらも各担当教員の指示に従うこと	
授業計画		<p>本科目の学習方法はスクーリングです。スクーリングは本学で開催される講義を受講し、試験に合格することで1単位を修得します。</p> <p>受講者自らが作成した実践(実習)および調査計画に従って、フィールドワークを進め、実践(実習)および調査の実施指導を担当教員から適宜受け、計画終了後、まとめを行うと共に成果物を作成する。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	特定課題研究演習（人間__実践）	
担当教員	大崎 広行・木下 大生・熊田 博喜・小高 真美・野口 友紀子・渡辺 裕一・渡邊 浩文	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>「特定課題研究演習」は、指定された課題に基づいて特定課題研究論文を執筆する科目です。必修科目なので、この科目の単位を取得しなければ、大学院を修了することはできません。</p> <p>一般的に大学院では修士論文の執筆が必修になっていますが、本学の人間社会研究科では、修士論文に相当するものが特定課題研究論文になります。</p> <p>「人間社会研究科」という研究科名が示しているように、研究対象は人間です。人間を研究する場合、さまざまな学問分野（哲学、宗教学、心理学、生物学、社会学、経済学など）からのアプローチが可能です。しかし、近代以降、それぞれの学問分野からの個別のアプローチでは人間を理解することはできないという反省から、学問分野を横断し、総合的に人間にアプローチする「人間学」の必要性が求められました。最近では「総合人間学」という言い方もされています。</p> <p>人間社会研究科実践福祉学専攻も、このようなアプローチによって人間を研究することを目的としています。しかし、実践福祉学専攻では、研究とその方法の修得を通して、困難事例への高い相談援助技能はもちろんのこと、ケースマネジメント力、人材育成力、他機関・他専門職との連携力、組織運営管理力、福祉資源開発力、研究力等を担保する具体的実践技能の理論化を行うことを目的としています。</p> <p>従って、本学の人間社会研究科では、方向性や問題意識を明確にするために、修士論文ではなく、指定した課題に基づく特定課題研究論文にしました。</p> <p>研究には独創性が求められることがあります。しかし、研究において最も重要なのは独創的な結論そのものではなく、どのような方法と手続きによってその結論を導き出したのかという研究方法になります。どんなに独創的な結論であっても、いい加減な研究方法によって導かれたものであるなら、それは研究による結果ではなく、ただの思いつきにしか過ぎません。</p> <p>以上の点から、特定課題研究論文では、あえて独創的な結論は求めずに、確実な研究方法を求めます。「特定課題研究演習」という科目の目的は、研究とはどのようなものであり、どのような方法で進めるのかという、研究能力を身に付けることです。研究能力を身に付けることができれば、大学院修了後、関心のあるテーマを各自で研究することができます。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>授業計画に記載の内容を行い、合格することで4単位を修得します。</p> <p><研究スケジュール></p> <p>(2020年)</p>	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	11月30日まで	「研究計画書」提出
	12月中旬	指導教員通知または再提出通知
	12月25日正午まで	指導教員確認
		*通知された指導教員の確認した旨の回答を行う。
	(2021年)	
	1月5日12:00正午まで	「研究計画書」再提出(*該当者のみ)
		「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出
		(*指導教員を通知された者のみ)
	1月中旬	指導教員通知(*「研究計画書」再提出者のみ)
	1月19日12:00正午まで	「指導教員確認」または「指導教員変更願」提出
		(*「研究計画書」再提出者のみ)
	2月上旬	公聴会参加(聴講)及び、中間発表1
	2月11日まで	指導教員決定通知(「指導教員変更願」の結果通知を含む)
	2月中旬履修登録	
	3月~5月	第1回面接指導
		*第2回目以降の面接指導は、指導教員と履修生が相談して回数と時期を決定します。
	6月	「中間発表」申し込み
	8月10日	「研究経過確認申請」提出
	8月上旬から9月上旬	中間発表2
	12月10日まで	「論文提出許可願」提出
	(2022年)	
	1月10日まで	「論文」提出「論文提出届」提出
	1月下旬か2月上旬	公聴会・口述試問
	2月上旬成績通知	
	8月10日まで	「論文」提出(*半年繰り上げ希望者のみ)「論文提出届」提出(*半年繰り上げ希望者のみ)
	8月下旬か9月上旬	公聴会・口述試問(*半年繰り上げ希望者のみ)
	9月中旬	成績通知(*半年繰り上げ希望者のみ)
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a:実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b:企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	

2021 武蔵野大学大学院 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		